

シラバスとは

各教科・科目の大まかな授業計画のことをいいます。みなさんは、事前に、新学期に向けて、このシラバスを使って教科・科目ごとの目標をよく理解し、この一年間を通じての学習内容や評価方法を確認しておきましょう。

新年度始めの授業で、各教科担任から詳しく説明がありますので、必ず持参し、場合によってはメモをとるなどして活用しましょう。また、年度途中でも、授業の進捗の確認や評価方法について見直すなど、1年間を通じて自分の学力向上に役立てましょう。

令和6年度

2年次教科・科目シラバス

もくじ

■ 必修	
論理国語（特進）	1～2
論理国語（普通）	3～4
古典探究	5～6
数学Ⅱ α （特進）	7～8
数学Ⅱ γ （普通）	9～10
数学B α	11～12
数学C α	13～14
公共	15～16
保健Ⅱ	17～18
体育Ⅱ（男子）	19～20
体育Ⅱ（女子）	21～22
英語コミュニケーションⅡ α （特進）	23～24
英語コミュニケーションⅡ γ （普通）	25～26
家庭基礎	27～28

■ 選択普通

2 A物理基礎 γ	29～30
2 A生物基礎 γ	31～32
2 B化学 β	33～34
2 B簿記	35～36
2 B①数学トレーニング	37～38
2 B①実用数学A	39～40
2 B①日本史探究 γ I	41～42
2 B①時事英語	43～44
2 B②国語表現 I	45～46
2 B②音楽Ⅱ	47～48
2 B②美術Ⅱ	49～50
2 B②書道Ⅱ	51～52
2 C英語アドバンスト β	53～54
2 Cビジネス総合 I	55～56
2 C世界史探究 γ	57～58
2 C地理探究 γ	59～60
2 C英語ベーシック	61～62

■ 選択特進

2 X物理基礎 α	63～64
2 X生物基礎 α	65～66
2 Y化学 α	67～68
2 Y英語アドバンスト α	69～70
2 Y世界史探究 α I	71～72
2 Y日本史探究 α I	73～74

■ 選択合同

創作国語	75～76
時事問題研究	77～78
数学に親しむ	79～80
理科に親しむ	81～82
STEP UP ENGLISH	83～84
器楽基礎	85～86
絵画入門	87～88
漢字仮名交じりの書 トレーニング	89～90 91～92
情報活用	93～94

教科名	国語	講座名	論理国語（特進・2年次）	履修区分	必履修
科目名	論理国語			単位数	2
教科の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を各科目の目標が示すとおり育成することを目指す。				
科目の目標	<p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。【知】</p> <p>(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。【思】</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。【態】</p>				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 考査 ・ 小テスト ・ 授業内外の課題への取り組み
【思】	思考・判断・表現	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 考査 ・ 小テスト ・ 授業内外の課題への取り組み
【態】	主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習への取り組み方の観察 ・ リフレクションカードの点検

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	1 世界・言葉・私	<ul style="list-style-type: none"> ・「世界を広げる『批評』の言葉」の読解を通じて筆者が定義することを的確に押さえ、主張をとらえる。 ・身近な言葉について、他者にもわかるように定義する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文や文章を効果的に組み立てたり接続したりするしかたについて理解を深めている。【知】 ・「読むこと」において、内容や構成、論理の展開をふまえながら要旨を把握している。【思】 ・言葉そのものに厳密に向き合おうとしている。【態】 	④⑦⑧
5	6	2 芸術と文化	<ul style="list-style-type: none"> ・「余白の美学」の読解を通じて、具体例の果たす役割を理解し、その意図を適切に読み取る。 ・的確に伝わるように具体的に書いたり抽象的に書いたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読解に必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語彙を豊かにしている。【知】 ・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら内容の解釈を深めている。【思】 ・学習課題に沿って、具体例の役割に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。【態度】 	④⑦⑧
6	8	3 共同体のいま	<ul style="list-style-type: none"> ・「コミュニティから見た日本」の読解を通じて、グラフと関連づけながら本文の内容を読み取る。 ・自分の考えと統計資料から読み取ったことを区別して書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・統計資料を根拠として説得力を高めるの文章の構成について、理解を深めている。【知】 ・「書くこと」において、統計資料を読み取り、自分の書く文章の主張を支えるために必要な情報を抽出している。【思】 ・学習課題に沿って、グラフと本文の内容を関連づけながら、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。【態】 	④⑦⑧⑨
7・8	8	4 科学の可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・「科学は生きている」の読解を通じて小見出しごとのまとまりに着目して、論の展開を押さえ、筆者の主張と根拠をとらえ、的確に要約する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解している。【知】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。【思】 	④⑦⑧
9・10	9	5 日本語の多様性	<ul style="list-style-type: none"> ・各文章を読み、敬語や方言について自ら集めた情報を観点に応じて整理・分類する。 ・整理・分類した情報をもとに、自分の考えを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。【知】 ・「書くこと」において、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。【思】 ・学習の見通しをもって、分類の観点を意識しつつ、集めた情報を粘り強く整理しようとしている。【態】 	④⑦⑧⑨
	3				
10・11	10	6 思考の枠組み	<ul style="list-style-type: none"> ・「スキーマと記憶」の読解を通じて、実験結果などの具体例の本文中での役割を理解し、主張を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文において主張に当たる情報とそれを裏づける情報とを明確に区別している。【知】 ・「読むこと」において、本文の構成における具体例の役割についての的確に理解している。【技】 ・本文の内容に興味をもち、意欲的に学習活動に取り組もうとしている。【態】 	④⑦⑧
12・1	10	7 社会の原点	<ul style="list-style-type: none"> ・「分かち合う社会」の読解を通じて、学説を引きながら論述する文章における主張をとらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読解に必要な語彙を増やし、認識や思考と言葉との関係を理解している。【地】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。【思】 ・学習課題に沿って、学説の引用に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。【態】 	④⑦⑧
2	6	8 グローバル化の先へ	<ul style="list-style-type: none"> ・各文章を読んだ上で、レポートを書くための情報収集をし、目的を明確にして、効果的な構成を考えて書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類にもとづく効果的な段落の構造など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。【知】 ・「書くこと」において、文章の構成や展開について自分の主張が的確に伝わるように書かれているかを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などをふまえて、自分の文章の特長や課題をとらえ直したりしている。【思】 ・学習の見通しをもって、全体の構成を意識しつつ、積極的に調べたことをレポートにまとめようとしている。【態】 	④⑦⑧⑨
3	4				

教科名	国語	講座名	論理国語（普通・2年次）	履修区分	必履修
科目名	論理国語			単位数	2
教科の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を各科目の目標が示すとおり育成することを目指す。				
科目の目標	<p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。【知】</p> <p>(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。【思】</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。【態】</p>				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理能力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 考査 ・ 小テスト ・ 授業内外の課題への取り組み
【思】	思考・判断・表現	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 考査 ・ 小テスト ・ 授業内外の課題への取り組み
【態】	主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習への取り組み方の観察 ・ リフレクションカードの点検

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	1 世界・言葉・私	<ul style="list-style-type: none"> ・「世界を広げる『批評』の言葉」の読解を通じて筆者が定義することを的確に押さえ、主張をとらえる。 ・身近な言葉について、他者にもわかるように定義する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文や文章を効果的に組み立てたり接続したりするしかたについて理解を深めている。【知】 ・「読むこと」において、内容や構成、論理の展開をふまえながら要旨を把握している。【思】 ・言葉そのものに厳密に向き合おうとしている。【態】 	④⑦⑧
5	6	2 芸術と文化	<ul style="list-style-type: none"> ・「余白の美学」の読解を通じて、具体例の果たす役割を理解し、その意図を適切に読み取る。 ・的確に伝わるように具体的に書いたり抽象的に書いたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読解に必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語彙を豊かにしている。【知】 ・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら内容の解釈を深めている。【思】 ・学習課題に沿って、具体例の役割に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。【態度】 	④⑦⑧
6	8	3 共同体のいま	<ul style="list-style-type: none"> ・「コミュニティから見た日本」の読解を通じて、グラフと関連づけながら本文の内容を読み取る。 ・自分の考えと統計資料から読み取ったことを区別して書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・統計資料を根拠として説得力を高めるの文章の構成について、理解を深めている。【知】 ・「書くこと」において、統計資料を読み取り、自分の書く文章の主張を支えるために必要な情報を抽出している。【思】 ・学習課題に沿って、グラフと本文の内容を関連づけながら、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。【態】 	④⑦⑧⑨
7・8	8	4 科学の可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・「科学は生きている」の読解を通じて小見出しごとのまとまりに着目して、論の展開を押さえ、筆者の主張と根拠をとらえ、的確に要約する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解している。【知】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。【思】 ・積極的に、筆者の主張と根拠の関係を理解した上で論の展開をとらえようとしている。【態】 	④⑦⑧
9・10	9	5 日本語の多様性	<ul style="list-style-type: none"> ・各文章を読み、敬語や方言について自ら集めた情報を観点に応じて整理・分類する。 ・整理・分類した情報をもとに、自分の考えを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。【知】 ・「書くこと」において、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。【思】 ・学習の見通しをもって、分類の観点を意識しつつ、集めた情報を粘り強く整理しようとしている。【態】 	④⑦⑧⑨
	3				
10・11	10	6 思考の枠組み	<ul style="list-style-type: none"> ・「スキーマと記憶」の読解を通じて、実験結果などの具体例の本文中での役割を理解し、主張を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文において主張に当たる情報とそれを裏づける情報とを明確に区別している。【知】 ・「読むこと」において、本文の構成における具体例の役割についての的確に理解している。【技】 ・本文の内容に興味をもち、意欲的に学習活動に取り組もうとしている。【態】 	④⑦⑧
12・1	10	7 社会の原点	<ul style="list-style-type: none"> ・「分かち合う社会」の読解を通じて、学説を引きながら論述する文章における主張をとらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読解に必要な語彙を増やし、認識や思考と言葉との関係を理解している。【地】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。【思】 ・学習課題に沿って、学説の引用に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。【態】 	④⑦⑧
2	6	8 グローバル化の先へ	<ul style="list-style-type: none"> ・各文章を読んだ上で、レポートを書くための情報収集をし、目的を明確にして、効果的な構成を考えて書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類にもとづく効果的な段落の構造など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。【知】 ・「書くこと」において、文章の構成や展開について自分の主張が的確に伝わるように書かれているかを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などをふまえて、自分の文章の特長や課題をとらえ直したりしている。【思】 ・学習の見通しをもって、全体の構成を意識しつつ、積極的に調べたことをレポートにまとめようとしている。【態】 	④⑦⑧⑨
3	4				

教科名	国語	講座名	古典探究（2年次）	履修区分	必履修
科目名	古典探究			単位数	2
教科の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を各科目の目標が示すとおり育成することを目指す。				
科目の目標	(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。【知】 (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。【思】 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。【態】				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 考査 ・ 小テスト ・ 授業内外の課題への取り組み
【思】	思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 考査 ・ 小テスト ・ 授業内外の課題への取り組み
【態】	主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで古典に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習への取り組み方の観察 ・ リフレクションカードの点検

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	和歌の役割に着目して物語を読もう	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの和歌に関連して詠み手の意図や修辞法を確認する。 構成や登場人物の行動に着目して「大江山」「初冠」を読み、内容を的確に捉える。 	古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。【知】 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。【思】	⑥⑦
5	6	故事で展開される論理を評価しよう	<ul style="list-style-type: none"> 語句の意味や用法を理解し古典を読むために必要な語句を増やし語彙を豊かにする。 登場人物の機知や論理展開に着目して「華歆・王朗」「江南橋為江北枳」を読む。 	古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。【知】 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。【思】	⑥⑦
6	8	随筆から古人の思想と時代背景を理解しよう	<ul style="list-style-type: none"> 文章に表れている修辞の特色を捉え、表現や語調、リズムを味わう。 当時の人々がなぜそのような思想を持つようになったのか、「ゆく河の流れ」「あだし野の露」から時代背景を理解する。 	古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。【知】 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。【思】	①⑥⑩
7・8	8	漢詩の形式を理解し七言絶句を習作しよう	<ul style="list-style-type: none"> 単元内の教材の学習を踏まえて、漢詩の規則を理解する。 「春」をテーマとした七言絶句を作る。 	古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。【知】 漢詩の創作に粘り強く取り組んでいる。【態】	①③④⑥
9・10	9	文章の展開に即して人物の心情変化を把握しよう	<ul style="list-style-type: none"> 助動詞や敬語表現の特徴を理解し的確に文章の内容を理解する。 登場人物の心情及びその変化の契機に着目して「をばすて山」「東路の道の果て」を読む。 	古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【知】 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。【思】	⑥⑦
	3	古典作品における地方観および民間伝承について理解しよう	<ul style="list-style-type: none"> 当時の中央と地方の関係や民間伝承の伝播状況について「【ズームアップ】受領層の娘たち」をもとに理解を深める。 	古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質について理解を深めている。【知】 当時の状況や民間伝承について進んで調べ、学習課題に沿って本文理解と自分の考えを深めようとしている。【態】	①⑤
10・11	10	史伝から登場人物の思考や行動を考察しよう	<ul style="list-style-type: none"> 古代中国独特の語句や史劇的表現の特色について理解を深める。 登場人物の思考や行動及びそこから発生した結果について「鴻門之会」の読解を踏まえ考察を行う。 	古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【知】 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察することができる。【思】	⑦⑨
12・1	10	物語に関連する資料を調べ、報告書を作成しよう	<ul style="list-style-type: none"> 宮廷文学の特徴及び多用される語句や文法についての理解を深める。 「光源氏誕生」の読解を起点として本作の概要を理解し、作品が及ぼした影響について調査を行い報告書にまとめ、発表を行う。 	古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【知】 古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。【思】	③⑧⑨
2	6	思想に関係する文章について、時代や地域の違いを踏まえ議論しよう	<ul style="list-style-type: none"> 複雑な句法の意味や特徴を理解し、文章の内容を的確にとらえる。 「侵官之害」から読み取れる思想について、興味を持ったことや疑問に感じたことを整理し議論を行う。 	古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。【知】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。【思】	④⑦⑧
3	4	和歌に関する文章を読み、鑑賞文を作成しよう	<ul style="list-style-type: none"> 「古今和歌集仮名序」及び収録されている和歌を鑑賞し、ものの見方、感じ方、考え方を深め鑑賞文を作成する。 	先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。【知】 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。【思】	①③④

教科名	数学	講座名	数学Ⅱα	履修区分	特進必修
科目名	数学Ⅱ			単位数	4
教科の目標	数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。				
科目の目標	式と証明・高次方程式、図形と方程式、いろいろな関数および微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な計算ができる。 基本的な公式を使うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 小テスト 単元テスト (定期考査)
【思】	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な公式を活用し、応用問題を解くことができる。 得られた解に対して、正解かどうか吟味をすることができ、不適切な解については理由を述べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 小テスト 単元テスト (定期考査)
【態】	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 数学の論理や体系に関心をもち、数学の良さを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。 単元シラバスへの記載に自分なりの考えが見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業への取り組み 単元シラバスへの記述

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	12	式と証明 方程式	多項式の乗法・除法、 分数式、式と証明、 複素数と2次方程式、 高次方程式	<ul style="list-style-type: none"> ・ 整式の割り算や分数式の約分、四則演算の方法を理解している。【知】 ・ 割り算で成り立つ等式を理解し、利用することができる。【知】 ・ 解と係数の関係を使って、対象式の値や2次方程式の係数を求めることができる。【知】 ・ 2次方程式の解が虚数になる場合もあることに興味を示し、2次方程式の解を考察しようとする。【思】 	①②④⑥ ⑦⑧
5	12				
6	16				
7	12	図形と方程式	点と直線、円と直線、軌跡と領域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 座標平面上において、線分の内分点、外分点の座標が求められる。【知】 ・ 与えられた条件を満たす直線の方程式の求め方を理解している。【知】 ・ 2つの円の位置関係を、中心間の距離と半径の関係で考察することができる。【知】 	①②④⑥ ⑦⑧
8	8				
9	12				
10	16	三角関数	三角関数、加法定理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 弧度法の定義を理解し、度数法と弧度法の換算をすることができる。【知】 ・ 加法定理を利用して、種々の三角関数の値を求めることができる。【思】 	①②④⑥ ⑦⑧
11	12				
12	12	指数関数と 対数関数	指数関数、対数関数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指数関数の増減によって、大小関係や方程式・不等式を考察することができる。【思】 ・ 対数の定義を理解し、対数の性質に基づいた種々の対数の値の計算ができる。【知】 	①②④⑥ ⑦⑧
1	8				
2	12	微分と積分	微分係数と導関数、導関数の 応用、 積分法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 導関数を利用して、関数の極値を求めたり、グラフをかきことができる。【知】 ・ 定積分の定義や性質を理解し、それを利用して定積分の計算することができる。【思】 	①②④⑥ ⑦⑧
3	8				

教科名	数学	講座名	数学Ⅱ γ	履修区分	普通必修
科目名	数学Ⅱ			単位数	4
教科の目標	数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。				
科目の目標	式と証明・高次方程式、図形と方程式、いろいろな関数および微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な計算ができる。 基本的な公式を使うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 小テスト 単元テスト (定期考査)
【思】	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な公式を活用し、応用問題を解くことができる。 得られた解に対して、正解かどうか吟味をすることができ、不適切な解については理由を述べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 小テスト 単元テスト (定期考査)
【態】	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 数学の論理や体系に関心をもち、数学の良さを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。 単元シラバスへの記載に自分なりの考えが見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業への取り組み 単元シラバスへの記述

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	12	式と証明 方程式	多項式の乗法・除法、 分数式、式と証明、 複素数と2次方程式、 高次方程式	<ul style="list-style-type: none"> ・ 整式の割り算や分数式の約分、四則演算の方法を理解している。【知】 ・ 割り算で成り立つ等式を理解し、利用することができる。【知】 ・ 解と係数の関係を使って、対象式の値や2次方程式の係数を求めることができる。【知】 ・ 2次方程式の解が虚数になる場合もあることに興味を示し、2次方程式の解を考察しようとする。【思】 	①②④⑥ ⑦⑧
5	12				
6	16				
7	12	図形と方程式	点と直線、円と直線、 軌跡と領域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 座標平面上において、線分の内分点、外分点の座標が求められる。【知】 ・ 与えられた条件を満たす直線の方程式の求め方を理解している。【知】 ・ 2つの円の位置関係を、中心間の距離と半径の関係で考察することができる。【知】 	①②④⑥ ⑦⑧
8	8				
9	12				
10	16	三角関数	三角関数、加法定理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 弧度法の定義を理解し、度数法と弧度法の換算をすることができる。【知】 ・ 加法定理を利用して、種々の三角関数の値を求めることができる。【思】 	①②④⑥ ⑦⑧
11	12				
12	12	指数関数と 対数関数	指数関数、対数関数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指数関数の増減によって、大小関係や方程式・不等式を考察することができる。【思】 ・ 対数の定義を理解し、対数の性質に基づいた種々の対数の値の計算ができる。【知】 	①②④⑥ ⑦⑧
1	8				
2	12	微分と積分	微分係数と導関数、導関数の 応用、 積分法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 導関数を利用して、関数の極値を求めたり、グラフをかくことができる。【知】 ・ 定積分の定義や性質を理解し、それを利用して定積分の計算することができる。【思】 	①②④⑥ ⑦⑧
3	8				

教科名	数学	講座名	数学B α	履修区分	特進必修
科目名	数学B			単位数	1
教科の目標	数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。				
科目の目標	式と証明・高次方程式、図形と方程式、いろいろな関数および微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な計算ができる。 基本的な公式を使うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 小テスト 単元テスト (定期考査)
【思】	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な公式を活用し、応用問題を解くことができる。 得られた解に対して、正解かどうか吟味をすることができ、不適切な解については理由を述べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 小テスト 単元テスト (定期考査)
【態】	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 数学の論理や体系に関心をもち、数学の良さを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。 単元シラバスへの記載に自分なりの考えが見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業への取り組み 単元シラバスへの記述

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	3	数列	等比数列・等差数列 いろいろな数列 漸化式と数学的帰納法	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な数列とその和及び漸化式と数学的帰納法について理解している。【知】 ・数列の和の公式を求めようとする意欲がある。また、工夫を要する漸化式について、考察しようとする。【態】 ・数列の和を記号Σで表したり、初項と漸化式を用いて数列を定義できることを理解している。【思】 ・初項と公差、公比を文字で表して、条件から数列の一般項を決定できる。また、和の求め方の工夫をして、数列の和が求められる。【知】 	②③⑦⑨
5	3				
6	4				
7	3				
8	2				
9	3				
10	4	確率分布と統計的な推測	確率分布 正規分布 統計的な推測	<ul style="list-style-type: none"> ・確率変数の平均、分散、標準偏差を求めることができる。【知】 ・二項分布から平均と分散を求めることができる。二項分布を正規分布により近似することができる【思】 ・母集団から、母平均と母比率を推定することができる。それらを利用して仮説検定をすることができる。【知】 	③④⑦⑨
11	3				
12	3				
1	2				
2	3				
3	2				

教科名	数学	講座名	数学C α	履修区分	特進必修
科目名	数学C			単位数	1
教科の目標	数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。				
科目の目標	式と証明・高次方程式、図形と方程式、いろいろな関数および微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な計算ができる。 基本的な公式を使うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 小テスト 単元テスト (定期考査)
【思】	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な公式を活用し、応用問題を解くことができる。 得られた解に対して、正解かどうか吟味をすることができ、不適切な解については理由を述べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 小テスト 単元テスト (定期考査)
【態】	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 数学の論理や体系に関心をもち、数学の良さを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。 単元シラバスへの記載に自分なりの考えが見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業への取り組み 単元シラバスへの記述

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	3	平面上のベクトル	ベクトルとその演算 ベクトルと図形	<ul style="list-style-type: none"> ・有向線分で表されたベクトルについて、和、差、実数倍を考察できる。また、座標平面上の点とベクトルの成分の関係について理解している。【知】 ・内積は実数であることを理解し、内積でベクトルの大きさが考察できることを理解している。【態】 ・位置ベクトルの一意性を理解し、図形を考察したり、ベクトルで表現して利用することができる。【思】 	③④⑥⑦
5	3				
6	4				
7	3				
8	2				
9	3				
10	4	空間のベクトル	空間のベクトル	<ul style="list-style-type: none"> ・座標空間において、点の座標、原点との距離が求められる。また、成分表示されたベクトルの大きさ、和、差、実数倍の計算ができる。【知】 ・ベクトルの内積を、平面から空間へ拡張して考察できる。また、空間ベクトルを利用して、線分の長さ、分点の座標を考察できる。【態】 ・ベクトルの分解の一意性を理解し、計算に利用できる。【思】 	③④⑥⑦
11	3				
12	3				
1	2				
2	3				
3	2				

教科名	公民科	講座名	公共	履修区分	必修
科目名	公共			単位数	2
教科の目標	社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。				
科目の目標	人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	○ 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解しているとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元テスト ・ ワークシート ・ 定期考査
【思】	思考・判断・表現	○ 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したり表現したりしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元テスト ・ ワークシート ・ 授業における活動 ・ 学習の振り返り ・ 定期考査
【態】	主体的に学習に取り組む態度	○ よりよい社会の実現を視野に、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ○ 粘り強い取り組みを行うなかで、自らの学習を調整しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシート ・ 授業における活動 ・ 学習の振り返り

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力	
4	6	「公共」のとびら	<ul style="list-style-type: none"> ○ 青年期と自己形成の課題 ○ 自己形成と社会への参画 ○ 個人として尊重される人間 ○ 社会的な存在としての人間 ○ 伝統・文化のなかの人間 ○ 功利主義と幸福の原理 ○ 義務論と公正の原理 ○ 公共的な空間における協働とは ○ 民主主義とは ○ 立憲主義とは ○ 人権保障の意義と展開 	【知識・技能】 ○ 現実社会の諸課題を考察する際に活用できる、考え方や基本的原理について理解している。 【思考・判断・表現】 ○ 幸福、公平、自由、義務などの視点を活用して、多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したり表現したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○ 粘り強い取り組みを行うなかで、自らの学習を調整しようとしている。	④⑥⑦⑧ ⑨⑩	
5	6					
6	8	自立した主体として社会に参画する私たち	<ul style="list-style-type: none"> ○ 民主政治と政治参加 【追究しよう】 民意を反映した政治を実現するには ○ 法や規範の意義と役割 【追究しよう】 法は私たちの生活にどのようにかわるのか？ ○ 市民生活と私法 【追究しよう】 現代の市民生活における私法の役割と意義は何か？ ○ 国民の司法参加 【追究しよう】 国民が司法に参加するうえで考えるべきことは何か？ 	【知識・技能】 ○ 政治参加、法や司法の役割などのテーマごとにおける基本的原理や課題について理解している。 【思考・判断・表現】 ○ 現実社会の諸課題について、事実を基に協働して考察して構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○ 現実社会の諸課題について、主体的に解決し、自分の在り方について考えようとしている。	②③④⑤ ⑥⑦⑧⑨	
7	6					
8	4					
9	6			<ul style="list-style-type: none"> ○ 現代の経済と市場 【追究しよう】 公正で自由な経済活動のために政府の役割はどうあるべきか？ ○ 市場経済における金融の働き 【追究しよう】 金融はどのような役割をになっているのだろうか？ ○ 財政の役割と持続可能な社会保障 【追究しよう】 「持続可能な財政」を実現するためにどうすべきだろうか？ ○ 働くことの意義と職業選択 【追究しよう】 これからの時代の職業選択をどのように考えればよいのだろうか？ ○ 労働者の権利と雇用・労働問題 【追究しよう】 望ましい労働環境を実現するために必要な取り組みは何か？ 	【知識・技能】 ○ 経済活動、金融、社会保障制度、職業選択などのテーマごとにおける基本的原理や課題について理解している。 【思考・判断・表現】 ○ 現実社会の諸課題について、事実を基に協働して考察して構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○ 現実社会の諸課題について、主体的に解決し、自分の在り方について考えようとしている。	②③④⑤ ⑥⑦⑧⑨
10	8					
11	6					
12	6			<ul style="list-style-type: none"> ○ 国際社会のルールとしくみ 【追究しよう】 国際社会の課題を解決するためにどのようなルールが必要か？ ○ 国際社会と平和主義 【追究しよう】 国際社会の平和と安全を実現するには？ ○ 国際平和への課題 【追究しよう】 国際社会における責任ある行動とは何か？ ○ グローバル化する国際経済 【追究しよう】 経済のグローバル化は現代社会にどのような影響をもたらしたか？ 	【知識・技能】 ○ 国際社会や国際平和などのテーマごとにおける基本的原理や課題について理解している。 【思考・判断・表現】 ○ 現実社会の諸課題について、事実を基に協働して考察して構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○ 現実社会の諸課題について、主体的に解決し、自分の在り方について考えようとしている。	②③④⑤ ⑥⑦⑧⑨
1	4					
2	6					
3	4	持続可能な社会づくりに参画するために	<ul style="list-style-type: none"> ○ 探究のイメージをつかもう ○ 探究プロセス 	【知識・理解】 ○ 現実社会の諸課題に関して、「追究しよう」で学んだ事項を理解している。 【思考・判断・表現】 ○ 得られた結果や自らの主張を、論拠を明確にして説明したり表現したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○ 現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	①②③④ ⑤⑥⑦⑧ ⑨⑩	

教科名	保健体育	講座名	保健（2年）	履修区分	必修
科目名	保健			単位数	1
教科の目標	保健の見方・考え方を働かせて、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質を育成する。				
科目の目標	生涯を通じる健康および健康を支える環境づくりについての理解を深め、自他や社会の課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともにそれらを表現できるようにする。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取べき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。	定期考査 小テスト 授業における活動
【思】	思考・判断・表現	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	定期考査 小テスト レポート・提出物 授業における活動
【態】	主体的に学習に取り組む態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	レポート・提出物 授業における活動

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	3	オリエンテーション 生涯を通じる健康	オリエンテーション ライフステージと健康	各ライフステージで活用できる社会からの支援について例をあげることができる	①⑤
5	3	生涯を通じる健康	思春期と健康 性意識と性行動の選択	<ul style="list-style-type: none"> 思春期の心の発達にかかわって起こる問題について例をあげることができる 性意識が性行動の選択に影響を及ぼす例をあげることができる 	②⑥⑦
6	4				
7	3	妊娠・出産 人工妊娠中絶 結婚生活と健康	妊娠・出産と健康 避妊法と人工妊娠中絶 結婚生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠・出産の過程における健康課題について説明できる 家族計画の意義と適切な避妊法について説明できる 結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動をあげることができる 	②⑥⑩
8	2				
9	3	中高年期と健康	中高年期と健康	加齢にともなう心身の変化について例をあげて説明できる。	②③④ ⑧
10	4	働くことと健康 労働災害について	働くことと健康 労働災害と健康 健康的な職業生活	<ul style="list-style-type: none"> 働くことの意義と健康とのかかわりについて説明できる。 労働災害の種類とその原因について例をあげることができる。 職場がおこなう健康に関する取り組みについて例をあげて説明できる。 	②⑥⑦
11	3	環境汚染について	大気汚染と健康 水質汚濁、土壌汚染 ごみの処理上下水道の整備	<ul style="list-style-type: none"> 大気汚染・水質汚濁・土壌汚染のそれぞれの原因とその健康影響を説明できる。 ごみの処理の現状やその課題について説明でき、上下水道のしくみと健康にかかわる課題を説明できる。 	①④⑨ ⑩
12	3				
1	2	健康を支える環境づくり	食品の安全性 食品衛生にかかわる活動	<ul style="list-style-type: none"> 食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について説明できる。 食品の安全性を確保するための個人の役割について説明できる。 	②⑦⑨
2	3	保健・医療サービス	保健サービスとその活用 医療サービスとその活用 保健活動や社会参加	保健行政の役割について例をあげることができ、医療保険のしくみについても説明できる	①②⑦
3	2	医薬品の制度 保健活動や社会的対策	医薬品の制度とその活用 さまざまな保健活動や社会的対策 健康に関する環境づくりと社会参加	医薬品の正しい使用法や医薬品の安全性を守る取り組みについて例をあげ説明できる	⑧⑨⑩

教科名	保健体育	講座名	体育（2年男子）	履修区分	必修
科目名	体育			単位数	3
教科の目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成する。				
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の実践を通して、運動の多様性や体力の必要性を理解するとともに技能を身につける。 ・課題の発見と解決に向けて、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 ・競走や協働の経験を通して、公正・協力・責任・自他の尊重・安全の確保といった態度を養う。 				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理能力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取べき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続するため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につける。	技能テスト 授業中の活動 提出物や筆記テスト
【思】	思考・判断・表現	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	授業中の活動 提出物
【態】	主体的に学習に取り組む態度	競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にするなど意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。	授業中の活動 授業に向けた準備(服装、時間等)

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	7	体づくり運動	体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、健康の保持増進や体力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に学習に取り組んでいる。 自他の、体力の違いに配慮しようとしている。 自己の責任を果たそうとしている。 	①④
5	9	陸上競技	走跳投種目の基礎やスタート方法、計測方法を習得し、自己の能力に応じた目標に向けて記録を向上させるよう努力する。	<ul style="list-style-type: none"> 全力を尽くして競争したり記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 記録の向上に向けて仲間と話し合うなどして練習を工夫している。 スタートや記録の計測方法、ファウルの判定について理解している。 	②⑥
6	9				
7	9	ソフトボール	種目の特性を理解し、基本的技能を習得してゲームができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> チームにおける自分の役割を果たし、協力して教え合ったり、励まし合ったりしている。 	⑥⑩
8	8				
9	6	水泳	泳法の基礎を習得し、水の危険を理解して自ら安全に留意して運動できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> 速く泳いだり、続けて長く泳いだりする、水泳の楽しさや喜びを味わおうとしている。 水泳の事故防止の心得や練習場のルールについて、言ったり書き出したりしている。 	③⑦⑧
10	6				
11	15	柔道	対人技能を高めて連絡技・得意技を習得し、相手との攻防の変化に応じて技をかけることができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> 相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。 	①②⑩
12	12	バレーボール	基本的技能を高め、各自の役割を認識して、組織的攻防ができるように工夫してゲームができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> チームにおける自分の役割を果たし、協力して教え合ったり、励まし合ったりしようとしている。 技能の段階に応じて相手との攻防にあった作戦で練習やゲームをすることができる。 	③④⑧
1	6				
2	9	バスケットボール	基本的技能の習得に加えて、種目の特性とルールを理解して自分たちで試合を行えるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> チームでの自分の役割を果たし、協力して教え合ったり励まし合ったりしている。 体力や技能レベルを踏まえた練習方法や対戦相手に応じた作戦を考える工夫をしている。 勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。 	⑤⑨
3	9				

※水泳授業は、感染症対策の観点から実施しない場合があります。

教科名	保健体育	講座名	体育（2年女子）	履修区分	必修
科目名	体育			単位数	3
教科の目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成する。				
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の実践を通して、運動の多様性や体力の必要性を理解するとともに技能を身につける。 ・課題の発見と解決に向けて、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 ・競走や協働の経験を通して、公正・協力・責任・自他の尊重・安全の確保といった態度を養う。 				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理能力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取べき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続するため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につける。	技能テスト 授業中の活動 提出物や筆記テスト
【思】	思考・判断・表現	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	授業中の活動 提出物
【態】	主体的に学習に取り組む態度	競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にするなど意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。	授業中の活動 授業に向けた準備(服装、時間等)

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	7	体づくり運動	体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、健康の保持増進や体力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に学習に取り組んでいる。 自他の、体力の違いに配慮しようとしている。 自己の責任を果たそうとしている。 	①④
5	9	陸上競技	走跳投種目の基礎やスタート方法、計測方法を習得し、自己の能力に応じた目標に向けて記録を向上させるよう努力する。	<ul style="list-style-type: none"> 全力を尽くして競争したり記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 記録の向上に向けて仲間と話し合うなどして練習を工夫している。 スタートや記録の計測方法、ファウルの判定について理解している。 	②⑥
6	9				
7	6	水泳	泳法の基礎を習得し、水の危険を理解して自ら安全に留意して運動できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> 速く泳いだり、続けて長く泳いだりする水泳の楽しさや喜びを味わおうとしている。 水泳の事故防止の心得や練習のルールを理解して行動している。 自己の体力や技能レベルに応じて積極的に練習しようとしている。 	⑥⑩
8	6				
9	9	バドミントン	基本的技能の習得に加えて、種目の特性とルールを理解して自分たちで試合を行えるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> チームにおける自分の役割を果たし、協力して教え合ったり、励まし合ったりしている。 体力や技能レベルを踏まえて、対戦相手に応じた作戦を考えて練習やゲームに取り組んでいる。 	③⑦⑧
10	8				
11	15	器械運動	基本的な技を習得して、なめらかに安定して演技することができるようにする。 (マット運動・跳び箱)	<ul style="list-style-type: none"> 仲間と協力して教え合ったり、練習の補助をしている。 安全を確保するための適切な練習方法を選んでいる。 互いの演技を見て、良いところを認め合っている。 	①②⑩
12	9	バスケットボール	基本的技能を高め、各自の役割を認識して、組織的攻防ができるように工夫してゲームができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> バスケットボールの学習に主体的に取り組もうとしている。 勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。 	③④⑧
1	9				
2	9	バレーボール	基本的技能の習得に加えて、種目の特性とルールを理解して自分たちで試合を行えるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> チームでの自分の役割を果たし、協力して教え合ったり励まし合ったりしている。 体力や技能レベルを踏まえた練習方法や対戦相手に応じた作戦を考える工夫をしている。 	⑤⑨
3	9				

教科名	外国語	講座名	英語コミュニケーションⅡα	履修区分	特進必修
科目名	英語コミュニケーションⅡ			単位数	4
教科の目標	外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどの確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。				
科目の目標	日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、 1. 必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の文で詳しく話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して複数の文で詳しく話して伝え合ったりすることができる。 4. 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の文で詳しく話して伝えることができる。 5. 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して、複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理能力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取べき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	<input type="checkbox"/> 課題テスト及び定期考査 <input type="checkbox"/> 活動の観察 <input type="checkbox"/> パフォーマンステスト
【思】	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりする力を身につけている。	<input type="checkbox"/> 課題テスト及び定期考査 <input type="checkbox"/> 活動の観察 <input type="checkbox"/> パフォーマンステスト
【態】	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度が養われている。	<input type="checkbox"/> 課題テスト等に対する取り組む姿勢と結果 <input type="checkbox"/> 活動の観察 <input type="checkbox"/> グループ学習の発表内容と意見を聞く態度

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	12	Lesson 7 Should Stores Stay Open for 24 Hours?	<題材内容とねらい> ・24時間営業店舗のメリット・ デメリットや歴史についての確 に理解し、その内容を整理して 伝えることができる。	[知識・技能]言語材料となっている文法 事項の理解・運用ができてい るか。	
5	12	Lesson 8 Our Future with Artificial Intelligence	<題材内容とねらい> ・AIの特徴や活用事例について 的確に理解し、その内容を整理 して伝えることができる。	[思考・判断・表現] 単元の題材に対する理解ができてい るか。 単元の題材に関連する情報を収集、報告 することができる、またはそれに対する 自分の意見を表現できるかどうか。	
6	16	Lesson 9 Stop Microplastic Pollution!	<題材内容とねらい> ・海洋プラスチック汚染につい て的確に理解し、その内容を整 理して伝えることができる。	[主体的] 提示された課題に対する取り組み・内容 の深さ	
7	12	Lesson 1 Play me, I'm Yours Lesson 2 Ethical Fashion	[題材内容] ストリートピアノ [言語材料] 助動詞・受け身の 復習 [言語の働き] 紹介する	6月6日～6月9日 前期中間考査	
8	8	Lesson 3 One for All, All for One	[題材内容] リーチ・マイケル(インタ ビュー) [言語材料] 完了形/仮定法過去 if [言語の働き] 感謝する	9月5日～9月8日 前期期末考査	
9	12	Lesson 4 Vending Machines	[題材内容] 自動販売機 [言語材料] 関係代名詞 [言語の働き] 説明する, 紹介 する		
10	16	Lesson 5 Design for Connecting Society: Braille Neue	[題材内容] エンバーサルデザイン [言語材料] 助動詞+受け身, It seems [appears] +that節 [言語の働き] 説明する		
11	12	Lesson 6 New Banknotes	[題材内容] 2024年の新紙幣 [言語材料] 形式目的語/ It + is [was] +said+that 節 [言語の働き] 意見を述べる	[思考・判断・表現] 単元の題材に対する理解ができてい るか。 単元の題材に関連する情報を収集、報告 することができる、またはそれに対する 自分の意見を表現できるかどうか。	
12	12	Lesson 7 Some Secrets about Colors	[題材内容] 色のもつ心理的効果 [言語材料] 同格を表す接続詞 that, 前置詞+関係代名詞, [言語の働き] 説明する	[主体的] 提示された課題に対する取り組み・内容 の深さ	
1	8	Lesson 8 Powdered Natto Solves a Global Water Problem	[題材内容] 納豆パウダー [言語材料] 強調, 文を先行詞 とする関係代名詞 [言語の働き] 描写する, 勧め る	11月14日～17日 後期中間考査	
2	12	Lesson 9 Flying after Her Dreams	[題材内容] 黒人女性初のパイロット [言語材料] 譲歩を表す副詞節, no matter 疑問詞, 仮定法過去完了, 分詞構文(過去分詞) [言語の働き] 説明する	2月19日～22日 学年末考査	
3	8	Lesson 10 To Work or Not to Work?: Humans and Robots	[題材内容] ロボット [言語材料] be+to 不定詞, insist など+that+S+V [原形] [言語の働き] 意見・理由を述べる		

①②③④
⑥⑧⑨

教科名	外国語	講座名	英語コミュニケーションⅡγ	履修区分	普通必修
科目名	英語コミュニケーションⅡ			単位数	4
教科の目標	外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどの確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。				
科目の目標	日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> ○課題テスト及び定期考査 ○活動の観察 ○パフォーマンステスト
【思】	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりする力を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> ○課題テスト及び定期考査 ○活動の観察 ○パフォーマンステスト
【態】	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度が養われている。	<ul style="list-style-type: none"> ○課題テスト等に対する取り組む姿勢と結果 ○活動の観察 ○グループ学習の発表内容と意見を聞く態度

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	12	Lesson 7 Should Stores Stay Open for 24 Hours?	<題材内容とねらい> ・24時間営業店舗のメリット・ デメリットや歴史についての確 に理解し、その内容を整理して 伝えることができる。	[知識・技能]言語材料となっている文法 事項の理解・運用ができてい るか。	①②③④ ⑥⑦⑧⑨ ⑩
5	12			[思考・判断・表現] 単元の題材に対する理解が できているか。 単元の題材に関連する情報 を収集、報告することができ る、またはそれに対する自 分の意見を表現できるかど うか。	
6	16	Lesson 8 Our Future with Artificial Intelligence	<題材内容とねらい> ・AIの特徴や活用事例につ いて的確に理解し、その内容 を整理して伝えることができ る。	[主體的] 提示された課題に対する取 り組み・内容の深さ	①②③⑥ ⑨⑩
7	12	Lesson 9 Stop Microplastic Pollution!	<題材内容とねらい> ・海洋プラスチック汚染につ いて的確に理解し、その内容 を整理して伝えることができ る。		①②③⑥ ⑨⑩
8	8				
9	12	Lesson 10 Being Different Is Beautiful	[題材内容] 写真家ヨシダギ [言語材料] 仮定法		①②③④ ⑥⑦⑧⑨ ⑩
10	16	Lesson1 Play me, I' m Yours	[題材内容] ストリートピアノ [言語材料] 助動詞+動詞の 原形, 受け身, S+V [be 動 詞以外]+C [言語の働き] 説明, 紹介	[知識・技能]言語材料となっ ている文法事項の理解・運 用ができているか。	①②③⑥ ⑨⑩
11	12	Lesson 2 Ethical Fashion	[題材内容] ファッション [言語材料] S+V+O+C [形 容詞]/[原形不定詞]/[現在 分詞] [言語の働き] 説明, 理由	[思考・判断・表現] 単元の題材に対する理解が できているか。 単元の題材に関連する情報 を収集、報告することができ る、またはそれに対する自 分の意見を表現できるかど うか。	
12	12	Lesson3 One for All, All for One	[題材内容] リーチ・マイケル [言語材料] 完了形, 仮定法 過去のif 節 [言語の働き] 質問, 感謝	[主體的] 提示された課題に対する取 り組み・内容の深さ	①②③④ ⑥⑦⑧⑨ ⑩
1	8	Lesson4 Vending Machines	[題材内容] 自動販売機 [言語材料] 関係代名詞 [言語の働き] 説明, 発表, 質問		
2	12	Lesson5 Design for Connecting Society: Braille Neue	[題材内容] ユニバーサルデ ザインのフォント, ブレイル ノイエ [言語材料] 助動詞+受け 身, S+V+O [if節] [言語の働き] 説明, 例示, 提案		①②③⑥ ⑨⑩
3	8	1年の振り返り			

教科名	家庭科	講座名	家庭基礎	履修区分	必修
科目名	家庭基礎			単位数	2
教科の目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
科目の目標	(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理能力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	学習ノートの週末確認問題の取り組み 定期考査 被服実習の取り組みとワークシート 調理実習の取り組みとワークシート
【思】	思考・判断・表現	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	定期考査 学習ノートのレポート ホームプロジェクト 被服実習のレポート 調理実習のレポート
【態】	主体的に学習に取り組む態度	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	学習ノートの取り組み・振り返りシート 定期考査のレポート ホームプロジェクト及び発表の取り組み

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	オリエンテーション ホームプロジェクト 自分らしい生き方と家族	・ホームプロジェクトとは ・生涯発達する人生 ・青年期を生きる ・生活を支える労働 ・生活時間と男女共同参画社会 ・現代の家族	・ホームプロジェクトの意義と実施方法等について理解できる。【知】 ・4つの自立について理解し、自分らしさは一人ひとり異なることを理解できる。【知】 ・青年期の課題や家族・家庭についての学習を自分の問題として捉え、生涯を見通して考える。【思】【態】 ・生活時間を有効に使うための改善方法を考えている。【思】 ・仕事と家庭の両立について考える。【思】	①③④⑥ ⑦⑧
5	6	自分らしい生活と家族 高齢者とかかわる	・家族・家庭を取り巻く社会環境の変化や課題 ・家族に関する法律の理念と変化 ・家族にかかわる法律 ・高齢社会に生きる・高齢者を知る ・高齢者のサポートと介護の心 ・高齢社会を支えるしくみ	・現代の家族・家庭の課題を経済や制度などの社会環境の変化と関連付けて理解できる。【知】 ・婚姻、夫婦、親子等に関する法律の理念が理解できる。【知】 ・成年年齢の変更や理由、権利と責任などを考える。【思】【態】 ・高齢期の心身の特徴、介護予防や生活の工夫、認知症についても理解できる。【知】 ・高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の役割の重要性について考察する。【思】【態】	①②③④ ⑤⑥⑦⑧ ⑨⑩
6	8	【前期中間考査】 社会とかかわる 子どもとかかわる	・共に生きたるために・社会保障制度 ・社会の一員としての私たちの役割 ・子どもの誕生・からだの発達 ・運動機能の発達と知的発達 ・かかわりのなかの発達 ・子どもの生活習慣と健康	・生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解できる。【知】 ・家庭や地域及び社会の一員として共に支え合って生活することの重要性について考察する。【思】【態】 ・身体の発育や運動機能、言語、認知、情緒、社会性などの発達の概要とその関連性を理解できる。【知】	①②③④ ⑤⑥⑦⑧ ⑨⑩
7	6	子どもとかかわる 衣生活をつくる	・子どもの食生活・衣生活・子どもの遊び ・親になることを考えよう ・すこやかに育つ環境と支援 ・子どもを守る法律・制度 ・人と衣服のかかわり・健康で安全な衣服 ・衣服素材の性能と改善	・遊びが子どもの生活において重要であることを理解するとともに、基本的な生活習慣の形成や健康管理と安全への配慮などについて理解できる。【知】 ・子どもを生み育てることの意義、親や家族及び地域や社会の役割の重要性について考察する。【思】【態】 ・現在の子育ての環境や地域社会や国の支援策や課題などについて、情報を収集し、まとめることができる。【思】【態】 ・保健衛生上、生活活動上、社会生活上の機能を生かした適切な着装があることを理解できる。【知】	①②③④ ⑤⑥⑦⑧ ⑨⑩
8	4	衣生活をつくる	・衣服素材の種類と特徴 ・衣生活の計画と購入 ・衣服の管理 ・家庭での洗濯・保管 ・持続可能な衣生活をつくる	・衣服の購入の際、自分のサイズを把握し、表示から必要な情報を読み取ることができる。【思】【態】 ・汚れが落ちる仕組みや、湿式洗濯と乾式洗濯の特徴を理解した上で、組成表示や家庭用品品質表示、取扱表示などに基づいた、適切な洗濯ができる。【知】【思】【態】 ・ファストファッションの問題点を把握し、自分の行動を見直すことができる。【思】【態】	①②③④ ⑤⑥⑦⑧ ⑨
9	6	【前期期末考査】 住生活をつくる	・人と住まいのかかわり ・平面図からみた住空間 ・ライフステージと住まいの計画 ・健康に配慮した住まい ・安全な住まい・持続可能な住まい ・ひとり暮らしのレイアウトとコーディネート	・住まいの機能や地域性豊かな住まいの文化を理解できる。【知】 ・平面図が読み取れるようになる。【知】 ・地震、風水害、積雪、土砂崩れなどの自然災害に対する防災対策を講じた住宅、防火、防犯、家庭内での事故などに対応した安全な住宅 ・住生活について考える。【知】【態】 ・学習の成果を活かし、自分がひとり暮らしをする時の間取りをコーディネートする。【思】【態】	①②③④ ⑥⑦⑧⑨
10	8	衣生活をつくる	・被服製作（エプロン） ・ボタン付け ・ミシンの操作・ミシン練習シート ・三つ折り・三つ折りミシン ・ポケット付け	・人体と被服の関わり、人体を覆い動作に適した被服の形状やゆとりなどについて理解し、平面構成である和服と立体構成である洋服の構成上の特徴、既製衣料品のサイズ表示について理解できる。【知】 ・基本的な縫製技術を身に付ける。【知】 ・使いやすさを考えてポケットの位置を決めることができる。【思】 ・被服実習を振り返り、レポートを作成する。【態】	①②③④ ⑤⑥⑦⑧ ⑨
11	6	食生活をつくる	・私たちの食生活と健康 ・五大栄養素 ・炭水化物 ・脂質 ・たんぱく質	・生活習慣病、摂食障害、月経異常などと食生活がかかわっていることを理解できる。【知】 ・自分の現在の食生活を振り返り、課題を見つけ、改善にむけて積極的に取り組もうとしている。【思】【態】 ・炭水化物・脂質・たんぱく質の働きやその栄養素を多く含む食品の特徴についての基礎的知識を身に付ける。【知】	①②⑥⑨
12	6	食生活をつくる ホームプロジェクト	・ミネラル ・ビタミン ・ホームプロジェクトの活動	・ミネラル・ビタミンの働きやその栄養素を多く含む食品の特徴についての基礎的知識を身に付ける。【知】 ・食品と栄養、調理との関係において、科学的な視点をもって、知識を深めようとしている。【思】【態】 ・自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践する。【思】【態】	①②③④ ⑤⑥⑦⑧ ⑨⑩
1	4	食生活をつくる ホームプロジェクト	・食品の選択と表示 ・食品の衛生 ・食の未来と環境への取り組み ・食事摂取基準 ・食品群別摂取量のめやす ・ホームプロジェクトの発表会	・食中毒の種類や予防法等について学び、衛生的な調理や食事管理ができるようになる。【知】 ・食料自給率、輸入食品、遺伝子組換えやゲノム編集などを踏まえて、自分や家族の食について考えたり、他者と対話することができる。【思】【態】 ・計画、実行、反省・評価の流れに基づいて行い、実施過程を記録するとともに、次の課題へ繋げるように発表会を通して交流する。【態】	①②③④ ⑤⑥⑦⑧ ⑨⑩
2	6	食生活をつくる 【後期期末考査】 経済的に自立する	・調理の基本 ・調理実習 ・献立作成 ・長期的な経済計画を立てる	・調理に関する基本的な「切る」「炒める」「ゆでる」「焼く」などの調理技術を身に付け、実際に調理ができるようになる。【知】 ・食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理実習ができる。【知】【思】【態】 ・調理実習を振り返り、レポートを作成する。【態】 ・教育資金、住宅取得、老後の備えの他にも、事故や病気、失業などリスクへの対応が必要であることを理解するとともに、預貯金、民間保険、株式、債券、投資信託等の基本的な金融商品の特徴、資産形成のことについても理解できる。【知】	①②③④ ⑤⑥⑦⑧ ⑨⑩
3	4	消費行動を考える 生活設計	・契約と主体的な消費行動 ・多様化する販売方法と問題商法 ・多様化する支払い方法 ・持続可能な社会の構築 ・これからの人生をデザインする	・問題商法の被害を未然に防いだり、早期に解決するための方法について思考・判断ができる。【思】【態】 ・環境配慮型製品の開発やグリーン購入の推進など、地域や企業、行政、国際的な取組など社会全体が一体となった取組を理解できる。【知】【態】 ・生活設計について、就きたい職業について調査をしたりするなど具体的に短期・長期の計画を立てることができる。【思】【態】	①②③④ ⑤⑥⑦⑧ ⑨⑩

教科名	理科	講座名	物理基礎 γ	履修区分	普通選択 2A
科目名	物理基礎			単位数	2
教科の目標	自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。				
科目の目標	物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究する。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理能力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	①自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているかについて、発言や記述の内容、ペーパーテスト等から状況を把握する。 ②観察、実験の基本操作を習得するとともに、観察、実験の計画的な実施、結果の記録や整理、資料の活用の仕方などを身に付けているかについて、行動の観察や記述の内容、パフォーマンステスト、ペーパーテストなどから状況を把握する。
【思】	思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を解釈し表現するなど、科学的に探究する過程において思考・判断・表現しているかを、発言や記述の内容、ペーパーテストなどから状況を把握する。
【態】	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしているかを、発言や記述の内容、行動の観察などから状況を把握する。

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	(ア) 運動の表し方	㉞ 物理量の測定と扱い方 ㉟ 運動の表し方 ㊱ 直線運動の加速度	【知】物体の運動を日常生活や社会と関連付けながら、速度・加速度の変化による落体の運動を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 【思】物体の運動について、観察、実験などを通して探究し、運動の表しにおける速度・加速度の規則性や関係性を見いだして表現すること。 【主】物体の運動についての事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	⑨
5	6				
6	8	(イ) 様々な力とその働き	㉞ 様々な力 ㉟ 力のつり合い ㊱ 運動の法則 ㊲ 物体の落下運動	【知】物体の運動を日常生活や社会と関連付けながら、力の種類・力のつり合い、力と加速度の関係を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 【思】物体の運動について、観察、実験などを通して探究し、力の種類・力のつり合い、力と加速度の関係の規則性や関係性を見いだして表現すること。 【主】力が引き起こす事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	③ ⑨
7	6	(ウ) 力学的エネルギー	㉞ 運動エネルギーと位置エネルギー ㉟ 力学的エネルギーの保存	【知】エネルギーを日常生活や社会と関連付けながら、仕事とエネルギーの関係・力学的エネルギー保存の法則を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 【思】エネルギーについて、観察、実験などを通して探究し、力学的エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現すること。 【主】エネルギーのやりとりで起こる事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	③ ⑨
8	4	(イ) 熱	㉞ 熱と温度 ㉟ 熱の利用	【知】エネルギーを日常生活や社会と関連付けながら、仕事とエネルギーの関係・力学的エネルギー保存の法則を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 【思】エネルギーについて、観察、実験などを通して探究し、力学的エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現すること。 【主】エネルギーのやりとりで起こる事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	③ ⑨
9	6	(ア) 波	㉞ 波の性質 ㉟ 音と振動	【知】波の性質を日常生活や社会と関連付けながら、振動数・波長・周期・波の速度の関係を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 【思】波の性質について、観察、実験などを通して探究し、振動数・波長・周期・波の速度の規則性や関係性を見いだして表現すること。 【主】波が引き起こす事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	③ ⑦ ⑨
10	8				
11	6	(ウ) 電気	㉞ 物質と電気抵抗 ㉟ 電気の利用	【知】電気について日常生活や社会と関連付けながら、電気抵抗の長さ・断面積による変化を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 【思】電気について、観察、実験などを通して探究し、力学的エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現すること。 【主】電気現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	③ ⑦ ⑨
12	6				
1	4	(エ) エネルギーとその利用	㉞ エネルギーとその利用	【知】エネルギーの利用について日常生活や社会と関連付けながら、人類が利用可能なエネルギーの特性を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 【思】エネルギーの利用について、観察、実験などを通して探究し、原子力発電における課題を見いだして表現すること。 【主】エネルギーの利用について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	③ ⑦ ⑨
2	6				
3	4	(オ) 物理学が拓く世界	㉞ 物理学が拓く世界	【知】物理学を日常生活や社会と関連付けながら、現在の科学技術を理解するとともに、物理学との結びつきの認識を深めさせる。 【思】物理学の応用や成果について探究し、物理学と日常生活を支えている科学技術との関係性を見いだして表現すること。 【主】物理学で解明できる事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	④ ⑦ ⑧ ⑨

教科名	理科	講座名	生物基礎 γ	履修区分	普通選択 2C
科目名	生物基礎			単位数	2
教科の目標	自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。				
科目の目標	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	定期考査の知識・理解を問う問題 (4回)
【思】	思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	定期考査の思考・判断・表現を問う問題 (4回)
【態】	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	実験に取り組む態度レポート 授業に取り組む態度jamboard

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	生物の特徴	生物の共通性と多様性	人間も生物であることを鑑みながら、多様な生物の共通性や多様性を理解することができる。【関】【知】	⑦⑨
5	6		細胞とエネルギー	生物の最小単位である細胞の働きや構造を理解するとともに有機的に機能していることを考えることができる。【思】【知】	⑦⑨
6	8	遺伝子とその働き	遺伝情報とDNA	DNAの存在が遺伝という子孫に情報を伝えることを理解することができる。【思】【知】	⑦⑨⑩
7	6		遺伝情報の分配	細胞分裂の本質を理解し、核分裂が遺伝情報を分配することに繋がる事を理解できる。【観】	⑦⑨
8	4		遺伝情報とタンパク質の合成	遺伝子とタンパク質の繋がりを理解し、生物の主要な成分であるタンパク質に関して興味を持って調べられる。【関】	⑦⑨
9	6	生物の体内環境とその維持	体内環境	体液の存在が体内環境そのものであることを理解し、外部の環境との違いを理解できる。	③⑥⑦⑨
10	8		体内環境と維持のしくみ	内臓が体液の正常化や維持を目的に存在していることを理解し、自らの健康を理解できる。【関】【知】	③⑥⑦⑨
11	6		免疫	生体防御の仕組みを理解し、日常生活の健康管理や維持を意識することができる。【関】【知】	③⑥⑦⑨
12	6	生物の多様性と生態系	植生と遷移	動物と植物の違いについてしっかりと理解し、植物に必要な要素について考えることができる。【思】【知】	⑤⑦⑨
1	4		気候とバイオーム	気候が植物の生息に密接に関わっていることを理解し、身の回りの生物の生息条件について考えられる。【思】【観】【知】	⑤⑦⑨
2	6		生態系と物質循環	物質としての生物を捕らえさせ、特に炭素等の循環について考えられる。【思】【知】	⑦⑨
3	4		生態系のバランスと保全	生態系の保全に自らの意思で積極的に活動できる基盤が作られているか。【関】【知】	③④⑦⑧⑨

教科名	理科	講座名	化学β	履修区分	普通選択
科目名	化学			単位数	4
教科の目標	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。				
科目の目標	化学的な事物・現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する技術や能力、態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則への理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理能力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取べき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深めるとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	単元テストの結果 実験操作の進行 パフォーマンステストの結果
【思】	思考・判断・表現	化学の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	実験レポートの記述内容 グループ学習の活動・発表内容
【態】	主体的に学習に取り組む態度	化学的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	単元テスト等に対する取り組む姿勢 フィードバックへの記述とその姿勢 グループ学習に取り組む態度

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	12	物質の状態 気体の性質	物質の三態 気体・液体間の状態変化 気体	状態変化に伴うエネルギーの出入り、気液平衡や蒸気圧についてグラフを関連づけながら考えることができる。【思】 気体の圧力・温度・体積の関係性を的確に捉えることができる。【知】	①②⑥
5	12	気体の性質 溶液の性質	気体の状態方程式 溶解	気体の状態を数式に表すことができる。【知】 物質の溶解を、電気陰性度との関係性から考えることができる。【思】 固体や気体の溶解度について、温度などの条件を踏まえて考えることができる。【思】	②④⑦
6	16	溶液の性質 固体の性質	希薄溶液の性質 コロイド 結晶 金属結晶の構造 イオン結晶の構造 分子結晶と共有結合の結晶	発泡ポリスチレン球を用いて立方格子の結晶構造を理解し、機械的性質との関連性を見いだそうとしている。【態】	①②③
7	12	化学反応と熱・光 電池と電気分解	反応とエンタルピー変化 ヘスの法則 光とエネルギー 電池	化学反応によるエンタルピー変化を、ヘスの法則を踏まえ、複数の反応経路について考えられるようになる。【思】 エネルギーの変換と化学反応を関連づけて理解しようとしている。【態】	⑦⑧
8	8	電池と電気分解 化学反応の速さ	電池 電気分解 反応の速さ	外部から加えた電気エネルギーによって化学反応が起こる原理について調べようとする。【態】 化学反応の速さの表し方を、物質の濃度変化に関連づけられている。【知】	②⑥⑦
9	12	化学反応の速さ 化学平衡	反応速度を変える条件 反応のしくみ 可逆反応と化学平衡	化学反応の速さを変化させる条件を見いだそうとしている。【態】 可逆反応における平衡状態について、物質の濃度との関連性を明らかにしながら理解を深めている。【思】	③⑦⑧
10	16	化学平衡 水溶液中の化学平衡 周期表と元素 非金属元素の単体と化合物	平衡の移動 電離平衡 塩の水への溶解 周期表と元素 水素とその化合物	水溶液中の化学平衡について、様々な濃度条件をもとに考えることができる。【思】 周期表の規則性や特徴を踏まえ、各元素の分類や性質の類似性について理解を深めている。【知】	②③⑨
11	12	非金属元素の単体と化合物 典型金属元素の単体と化合物	非金属元素の単体とその化合物 典型金属元素の単体とその化合物	典型元素の単体や化合物について、反応や性質を考え、調べようとする。【態】	②④⑦
12	12	遷移金属元素の単体と化合物 金属イオンの分離と確認	遷移元素の特徴 遷移元素とその化合物 金属イオンが検出できる反応 金属イオンの系統分離と確認	遷移元素の単体や化合物について、反応や性質を考え、調べようとする。【態】 金属イオンの反応性や沈殿生成の傾向を踏まえ、分離方法について系統立てた考えを表現することができる。【思】	②④⑦
1	8	有機化合物の特徴と構造 炭化水素 アルコールと関連化合物	有機化合物の特徴 有機化合物の構造式の決定 飽和炭化水素 不飽和炭化水素 アルコールとエーテル	有機化合物の性質や構造を理解し、分類や分析の仕方を理解できる。【知】 炭化水素の特徴や反応性を理解し、有機化合物特有の化学反応について理解する。【知】	②③
2	12	アルコールと関連化合物 芳香族化合物	アルデヒドとケトン カルボン酸 エステル・油脂・セッケン 芳香族化合物	酢酸とエタノールから酢酸エチルを合成し、その性質を調べることができる。【思】 芳香族化合物の特徴を理解し、脂肪則化合物との違いを明らかにできる。【思】	②③⑦⑧
3	8	高分子化合物とは何か 天然高分子化合物 合成高分子化合物	高分子化合物の特徴と分類 天然高分子化合物 合成高分子化合物	生活や生命に関わる高分子化合物の基礎的な分類、特徴を調べようとする。【態】 特別な機能をもった機能性高分子の種類や、その働きを考えることができる。【思】	①②③

教科名	商業	講座名	簿記	履修区分	普通選択 2B
科目名	簿記			単位数	4
教科の目標	商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、ビジネスの意義や役割について理解させるとともに、ビジネスの諸活動を主体的に、合理的に、かつ倫理観をもって行い、経済社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。				
科目の目標	簿記に関する知識と技術を習得させ、その基本的な仕組みについて理解させるとともに、適正な会計処理を行う能力と態度を育てる。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	簿記に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、ビジネスの諸活動を計数的に把握し、的確に処理するとともに、簿記一巡の手続きに関する内容について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 検定試験への取り組み
【思】	思考・判断・表現	いろいろな処理法や記帳法などについて、なぜそのように行うのかなど自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、その成果を表現するとともに、創意工夫する能力を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 検定試験への取り組み
【態】	主体的に学習に取り組む態度	簿記に関心を持ち、その知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組むとともに、ビジネスの諸活動を計数的に把握する実践的な態度を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 授業振り返りシート 課題提出状況

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	12	簿記の基礎	簿記の基礎 資産・負債・資本と貸借対照表 収益・費用と損益計算書 取引と勘定 仕訳と転記 仕訳帳と総勘定元帳 試算表 清算表 決算	簿記の意味・目的や、資産・負債・資本・収益・費用および損益計算書・貸借対照表の作成に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。【知・思・態】 なぜ、帳簿をつけるのか、勘定を設けるのか、資本を収益と費用に分けるのかなどについて考えている。【知・思】 簿記一巡の手続きに関心を持ち、自分から進んでまとめたり、問題演習に取り組もうとする。【態】 基本的な取引の記帳から決算まで一連の流れを理解している。【知・思】	①②③ ④⑥⑦ ⑧⑨⑩
5	12				
6	16				
7	12				
8	8				
9	12	取引の記帳	現金・預金などの処理 商品売買の取引 掛け取引 手形の取引 有価証券の取引 その他の債権・債務の取引 固定資産の取引 個人企業の資本と税金 営業費の取引	各取引の処理方法・記帳方法・計算方法を理解している。【知】 総勘定元帳の各勘定と補助簿および補助元帳の関係性を理解し、正しく記帳できる。【技・知】 取引の時点を正しく把握し、過去の取引や将来起こる取引を想像できる。【思・知】 仮払いや仮受けなど、確定前の取引があることを理解し、記帳することができる。【思・技】 確定申告の意味を理解し、正しく記帳できる。【技・知】	①②③ ④⑥⑦ ⑧⑨⑩
10	16				
11	12				
12	12				
1	8	決算と伝票	決算整理仕訳と8桁清算表 帳簿組織と財務諸表の作成 伝票の起票 検定模擬問題	決算整理の意味を正しく理解し、精算表や財務諸表が作成できる。【知・思】 帳簿組織との関連性について理解している。【思】 証票、伝票の役割を理解し、正しく起票および集計することができる。【知・思】	①②③ ④⑥⑦ ⑧⑨⑩
2	12				
3	8	総合演習	総合演習問題	より実務に近い模擬取引の記帳ができる。【知・思・態】	①②③ ④⑥⑦ ⑧⑨⑩

教科名	数学	講座名	数学トレーニング	履修区分	普通選択 2B①
科目名	数学探究			単位数	2
教科の目標	数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。				
科目の目標	数学 I A の内容を中心に、問題を読み解き、解説する力を育成する。自己に必要な学習を自分で見つけ、自分で成長できる力を身につける。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。	定期試験・提出物
【思】	思考・判断・表現	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	定期試験・提出物
【態】	主体的に学習に取り組む態度	数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	定期試験・提出物

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	65	数と式 2次関数	数・式の計算	正確に計算する能力はもちろん、それを如何に他人へわかりやすく伝えるかの手段に関心を持つ。【態】【思】	④⑥⑦⑧
5			方程式と不等式	方程式と不等式の基本的な性質が身についているか。【態】【知】	④⑥⑦⑧
6			関数、数と集合	図示などを用いることで、論理的に物事を考えて、それを説明できているか。【態】【思】	④⑥⑦⑧
7			式の計算／方程式の応用 関数の応用	文章題を図示することで、思考を整理し、数学的な考え方で計算式に表すことができるか。【態】【思】	④⑥⑦⑧
8	45	図形と計量	三平方の定理、三角比	三平方の定理、三角比に関する基本的な性質が身についているか。【態】【知】	④⑥⑦⑧
9			正弦定理と余弦定理	正確に計算する能力はもちろん、それを如何に他人へわかりやすく伝えるかの手段に関心を持つ。【態】【思】	④⑥⑦⑧
10			三角比の応用、図形の応用	先を見通しながら図形問題に取り組み、用いる公式や式変形を他者にわかりやすく伝えることができるか。【態】【思】	④⑥⑦⑧
11	40	場合の数と確率	順列と組合せ	順列と組合せの基本的な性質が身についているか。【態】【知】	④⑥⑦⑧
12			確率	文章題を図示することで、思考を整理し、数学的な考え方で計算式に表すことができるか。【態】【思】	④⑥⑦⑧
1			順列・組合せと確率の応用	文章から必要な情報を取捨選択することができ、他者に伝わる説明を書くことができるか。【態】【思】	④⑥⑦⑧
2	6	データの分析 図形の性質	データの分析、平面図形	データの分析の基本的な性質が身についているか。【態】【知】 図形の基本的な性質が身についているか。【態】【知】	④⑥⑦⑧
3	4		思考力問題	文章から必要な情報を取捨選択することができ、他者に伝わる説明を書くことができるか。【態】【思】	④⑥⑦⑧

教科名	数学	講座名	実用数学A	履修区分	普通選択 2B①
科目名	実用数学			単位数	2
教科の目標	数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。				
科目の目標	数学を用いた様々な問題に取り組むことによって、広い視点を養い、数学の知識・技能や数学的な見方や考え方を養う。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	・数学の論理や原理に従い、基本的な計算ができているか。	・定期考査 ・レポートへの取り組み
【思】	思考・判断・表現	・数学という言葉を用いて、自身の考え方を他者に伝えようとしているか。 ・図や表を用いて考えようとしているか。	・定期考査 ・レポートへの取り組み
【態】	主体的に学習に取り組む態度	・数学を用いて論理的に記述し、考察しようとしているか。	・レポートへの取り組み、考察

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	第1編 数的推理	1次方程式、2次方程式、不等式 適性検査	文章題から状況を図示するなど正確に把握し、求めるものを文字で設定し立式し解を得ることができるか。	①④⑧
5	6		速さの3式、旅人算、流水算・通過算 適性検査	速さの基本的な性質を理解しているか。文章題から状況を図示するなど正確に把握し、求めるものを文字で設定し立式し解を得ることができるか。【関】【知】	①④⑧
6	8		比、濃度、仕事算、場合の数 適性検査	図示などを用いて思考を整理し、求める解にたどり着くことができるか。【関】【見】	①④⑧
7	6	第2編 資料解釈	図表、グラフ 適性検査	資料を読み取り、必要な情報を取捨選択して、文章の正誤判断を行うことができるか。	①④⑧
8	4	第1編 判断推理	集合と命題、順序関係、位置・角度 適性検査	文章を正確に読み取り、論理的な思考で解を導くことができるか。	①④⑧
9	6		対応関係、試合、証言、軌跡 適性検査	文章を正確に読み取り、論理的な思考で解を導くことができるか。	①④⑧
10	8	数学を用いて問題解決	数学を用いて、日常にある課題を解決	試行錯誤しながら課題に取り組み、数学の良さを認識することができるか。	③④⑦
11	6		数学を用いて、日常にある課題を解決	試行錯誤しながら課題に取り組み、数学の良さを認識することができるか。	③④⑦
12	6		数学を用いて、日常にある課題を解決	試行錯誤しながら課題に取り組み、数学の良さを認識することができるか。	③④⑦
1	4		数学を用いて、日常にある課題を解決	試行錯誤しながら課題に取り組み、数学の良さを認識することができるか。	③④⑦
2	6		数学を用いて、日常にある課題を解決	試行錯誤しながら課題に取り組み、数学の良さを認識することができるか。	③④⑦
3	4		数学を用いて、日常にある課題を解決	試行錯誤しながら課題に取り組み、数学の良さを認識することができるか。	③④⑦

教科名	地理歴史	講座名	日本史探究	履修区分	普通選択 2B①
科目名	日本史探究			単位数	2
教科の目標	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。				
科目の目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点	観点の趣旨	評価方法
【知】 知識・技能	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	①学習評価（生徒） (1) パフォーマンス評価（自己、相互） (2) 成果物評価（自己、相互） ②学習評価（教員） (1) パフォーマンス評価 (2) 成果物評価 (3) 査査評価
【思】 思考・判断・表現	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養っている。	①学習評価（生徒） (1) パフォーマンス評価（自己、相互） (2) 成果物評価（自己、相互） ②学習評価（教員） (1) パフォーマンス評価 (2) 成果物評価 (3) 査査評価
【態】 主体的に学習に取り組む態度	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。	①学習評価（生徒） (1) パフォーマンス評価（自己、相互） (2) 成果物評価（自己、相互） ②学習評価（教員） (1) パフォーマンス評価 (2) 成果物評価 (3) 査査評価

●学習計画 ※単元内容の実施時期、時数の変更の可能性があります。

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	A 原始・古代の日本と東アジア (1) 黎明期の日本列島と歴史的環境	・オリエンテーション ・日本文化のあけぼの	【知】旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解している。 【思】黎明期の日本列島の変化に着目して、原始社会の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。 【主】日本列島の歴史的環境と文化の形成について考察することを通じ、旧石器文化や縄文文化、弥生文化の特色を明らかにしようとしている。	④⑦⑧⑨
5	6	(2) 歴史資料と原始・古代の展望	・資料読解	【知】原始・古代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思】歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、原始・古代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。	④⑦⑧⑨
6	8	(3) 古代の国家・社会の展開と画期（歴史の解釈、説明、論述）	・古墳とヤマト政権 ・律令国家の形成 ・貴族政治の展開	【知】国家の形成と古墳文化、律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、原始から古代の政治・社会や文化の特色を理解している。 【思】中国大陸・朝鮮半島との関係、隋・唐など中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して、主題を設定し、小国の形成と連合、古代の国家の形成の過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 【主】東アジアとの関係の変化や社会の変化を考察することを通じて、文化とのつながりを主体的に追究しようとしている。	④⑦⑧⑨
7	6				
8	4	B 中世の日本と世界 (1) 中世への転換と歴史的環境	・院政と武士の躍進	【知】貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の転換を理解している。 【思】時代の転換に着目して、中世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。 【主】古代との比較などを通して、中世の特色を主体的に探究しようとしている。	④⑦⑧⑨
9	6				
10	8	(2) 歴史資料と中世の展望	・資料読解	【知】中世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思】歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、中世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。	④⑦⑧⑨
11	6	(3) 中世の国家・社会の展開と画期（歴史の解釈、説明、論述）	・武家成権の成立 ・武家社会の成長	【知】武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解している。 【思】公武関係の変化、宋・元などユーラシアとの交流と経済や文化への影響などに着目して、主題を設定し、中世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 【主】武家政権の変容や東アジアの国際情勢の変化などに着目し、諸資料を活用して前後の時代とのつながりを主体的に見出そうとしている。	④⑦⑧⑨
12	6				
1	4	C 近世の日本と世界 (1) 近世への転換と歴史的環境	・近世の幕開け	【知】織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解している。 【思】時代の転換に着目して、近世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。 【主】戦国時代から織豊政権にかけての歴史の展開に関わる課題を主体的に追究しようとしている。	④⑦⑧⑨
2	6				
3	4	(2) 歴史資料と近世の展望	・資料読解	【知】近世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思】歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。	④⑦⑧⑨

教科名	外国語	講座名	時事英語	履修区分	普通選択 2B①
科目名	時事英語			単位数	2
教科の目標	外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどの確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。				
科目の目標	英文を読んで内容を読み取る活動、調べ学習や自分の意見を発表する活動などを通して、英語運用能力の向上を目指します。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取べき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	○言語の働きなどを理解し、音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。 ○4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。	○課題テスト、定期考査
【思】	思考・判断・表現	○情報や考えなどの概要・詳細・意図を的確に理解したり適切に表現したりできる。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、幅広い話題について話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。	○エッセイ・インタビューテスト・発表（スピーチ・プレゼンテーション）・ディベート等への取り組みと成果
【態】	主体的に学習に取り組む態度	○情報や考えなどを的確に理解している。 ○言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。 ○他者を尊重しながら、自分の意見や考えを表現しようとしている。	○課題テスト等に対する取り組む姿勢と結果 ○活動の観察、課題提出 ○積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	1 HARAMI chan	・ストリートピアノでみんなを笑顔に！ハラミちゃん : 「～のとき」 when+S+V	・ペアワークで単語や熟語を覚える。 ・スラッシュごとに、本文の意味を理解する。 ・決められた英文を暗唱する。 【知】【思】【態】	①②③⑨
5	6	2 J. League's 30th Anniversary	・Jリーグ30周年 その歴史と地域との結びつき : 「Aに～してほしい」 動詞+A+to+動原	・プレゼンテーションの原稿を作成する。 ・原稿を見ないで発表し、評価する。 【知】【思】【態】	①②③④ ⑧⑨
6	8	3 High School Deer Dancing Club	・郷土芸能を伝える 花巻農業高校鹿踊部 : 「BすることはAである」 It is A to B.	・ペアワークで単語や熟語を覚える。 ・スラッシュごとに、本文の意味を理解する。 ・決められた英文を暗唱する。 【知】【思】【態】	①②③⑨
7	6	4 Queen Elizabeth II	・エリザベス女王 イギリス国民に捧げた生涯 : 「～だろう」 will+動原	・プレゼンテーションの原稿を作成する。 ・原稿を見ないで発表し、評価する。 【知】【思】【態】	①②③④ ⑧⑨
8	4	5 Restoring Shuri Castle	・復元へ向けた工事が進む首里城 : 「～なので」 because+S+V	・ペアワークで単語や熟語を覚える。 ・スラッシュごとに、本文の意味を理解する。 ・決められた英文を暗唱する。 【知】【思】【態】	①②③⑨
9	6	6 Kiwi, Icon of New Zealand 7 Ishikawa Yuki	・ニュージーランド固有の鳥 キーウィ : 「Bと同じくらいA」 as A as B ・世界で活躍！ バレーボールの石川祐希選手 : 「～したい」 want to+動原	・プレゼンテーションの原稿を作成する。 ・原稿を見ないで発表し、評価する。 【知】【思】【態】	①②③④ ⑧⑨
10	8	8 What Can We Do in the Metaverse? 9 Osagari Culture in Tanegashima	・最近話題のメタバースでできること : 間接疑問文 ・種子島のおさがり文化がアプリで便利に : 「～を望む」 hope that ~	・ペアワークで単語や熟語を覚える。 ・スラッシュごとに、本文の意味を理解する。 ・決められた英文を暗唱する。 【知】【思】【態】	①②③⑨
11	6	10 Cup Noodles 11 Glowing Creatures	・みんなが知ってる「カップヌードル」 その誕生秘話とは : 関係代名詞 who ・神秘的な光を生み出す発光生物 : 「～したことがある」 have+過去分詞	・プレゼンテーションの原稿を作成する。 ・原稿を見ないで発表し、評価する。 【知】【思】【態】	①②③④ ⑧⑨
12	6	12 Loop, a New Re-use System	・ごみ削減のために再利用可能な容器を使う仕組み Loop : 「ますます多くの～」 more and more ~	・ペアワークで単語や熟語を覚える。 ・スラッシュごとに、本文の意味を理解する。 ・決められた英文を暗唱する。 【知】【思】【態】	①②③⑨
1	4	13 Mixed Culture in Spain	・多様な文化が混在する国 スペイン : 「～される」 be+過去分詞	・プレゼンテーションの原稿を作成する。 ・原稿を見ないで発表し、評価する。 【知】【思】【態】	①②③④ ⑧⑨
2	6	14 Kurobe Dam	・世紀の大事業 黒部ダムはなぜつくられた? : 形式主語	・ペアワークで単語や熟語を覚える。 ・スラッシュごとに、本文の意味を理解する。 ・決められた英文を暗唱する。 【知】【思】【態】	①②③⑨
3	4	まとめ	1年の振り返り	・プレゼンテーションの原稿を作成する。 ・原稿を見ないで発表し、評価する。 【知】【思】【態】	①②③④ ⑧⑨

教科名	国語	講座名	国語表現 I	履修区分	普通選択2B②
科目名	国語表現			単位数	2
教科の目標	国語を適切に表現し、的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。				
科目の目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけている。 国語の知識や技能を使って、適切に表現することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 考査 ・ 単元テスト ・ 授業内外の課題への取り組み
【思】	思考・判断・表現	目的や場面に応じて、効果的に話したり、書いたり表現できる。 情報を的確に読み取り、客観的に考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 考査 ・ 単元テスト ・ 授業内外の課題への取り組み
【態】	主体的に学習に取り組む態度	伝え合う力を高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、言語力の向上に努めようとする態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習への取り組み方の観察 ・ 授業内外の課題への取り組み ・ 振り返り

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	1 言葉と出会う 整った文を書く	○オリエンテーション ○言葉と表記 (1) 仮名遣い (2) 送り仮名 (3) 漢字 (4) 慣用表現 ○文を整える (1) 係り受けを整える (2) 文末表現の統一	・適切な言葉遣いや表記に関する知識を身につけている。 ・自分の思いや考えを表現するために、五感を磨き、豊かな表現をすることができる。【知】 ・わかりやすい文を書くことに意欲を持ち取り組んでいる。【態】	⑦⑧
5	6	相手に応じた言葉遣い わかりやすい文を書く	○言葉の使い分けクイズ (1) 和語・漢語・外来語 (2) 話し言葉と書き言葉 (3) 敬語を使い分ける ○長すぎる文を短文に ○読点を効果的に使う ○あいまいな文を避ける	・話し言葉と書き言葉の特徴や役割について理解し、使い分けることができる。【知】 ・聞き手や読み手に対してより効果的に伝わるように、文章全体を整えたり適切な表現にしたりしている。【思】	⑦⑧
6	8	文のつながり方 2 伝える、伝え合う	○接続表現でつなぐ 接続表現クイズ ○文脈でつなぐ ○実践トレーニング ○他者を紹介しよう	・接続表現から文のつながりについて理解している。【知】 ・聞き手や読み手に対してより効果的に伝わるように、文章全体を整えたり適切な表現にしたりしている。【思】【態】	⑦⑧
7	8	言葉のストレッチ 体操 マイニュース記事 を書こう 3 小論文・レポート	○聞き取りレッスン○伝言リレー ○相手に配慮した断り方 ○「マイニュース」を見つける ○情報を整理する ○原稿を書き、発表する	・目的や場に応じて、自分の考えが伝わるよう具体例を効果的に用いている。【知】 ・相手に伝わるように話の構成や展開を工夫している。【思】【態】	④⑦⑧
8	8	小論文とは何か	○小論文とは○基本的な構成 ○構成メモ作成○執筆と推敲 教科書P16、P22参照	・小論文の基本的な構造を理解し書くことができる。【知】 ・相手に伝わるように話の構成や展開を工夫している。【思】【態】	④⑦⑧
9	8	反論を想定して書く 文章を読み取って書く	期末テスト ○対立する意見を想定する ○理由を吟味する○構成メモを作る ○執筆・推敲 ○文章を読む ○要約する○小論文を書く	・目的や場に応じて、自分の考えが伝わるよう具体例を効果的に用いている。【知】 ・相手に伝わるように話の構成や展開を工夫している。【思】【態】	④⑦⑧
10	8	統計資料を読み取って書く 発想を広げて書く	○統計資料を読む P90~92 124~126、150参照 統計資料を読む 分析する 構成メモ(執筆・推敲) ○思い浮かぶ言葉をメモする	・目的や場に応じて、自分の考えが伝わるよう具体例を効果的に用いている。【知】 ・社会の諸問題から適切な材料を決め、伝えたいことを明確にしている。【思】【態】	⑦⑧⑨
11	8	レポートを書く 論文を書く	(構成を考える、小論文を書こう) ○テーマを決める ○調査をする ○構成メモを作る ○メモに沿って書く	・客観的な根拠を集めて説得力のあるレポートを書くことができる。【知】 ・レポートの目的や意図に応じて、適切な題材を選び、表現の仕方を工夫している。【思】【態】	②④⑦
12	8	論文を書く	○構想を練り、仮説を立てる ○調査・分析 ○アウトラインの作成 引用ルール 参考文献の示し方 注の付け方	・客観的な根拠を集めて説得力のあるレポートを書くことができる。【知】 ・レポートの目的や意図に応じて、適切な題材を選び、表現の仕方を工夫している。【思】【態】	②④⑦
1	8	自分を見つめて 効果的な自己PR	○人生を見つめる ○長所・短所を見つめる ○自己PRの構成メモを作る ○原稿書き、発表	・目的や場に応じて、自分の考えが伝わるよう具体例を効果的に用いている。【知】 ・相手に伝わるように話の構成や展開を工夫している。【思】【態】	①④⑧
2	8	将来の自分を考えよう 志望理由を書こう	○業界と職業について調べる ○情報を集める P116参照 ○書くことを膨らませる ○構成を考える ○文章にまとめる 期末テスト	・目的や場に応じて、自分の考えが伝わるよう具体例を効果的に用いている。【知】 ・相手に伝わるように話の構成や展開を工夫している。【思】【態】	①⑥⑧
3	8	履歴書を書く 面接にチャレンジ	○履歴書を書く ○質問と答えをメモする ○面接練習をする 志望理由との関連	・話し言葉の特徴を理解し、場面や相手に応じて適切な表現ができる。【知】 ・相手の共感が得られるように、内容や言葉遣いについて工夫している。【思】【態】	①⑥⑧

教科名	芸術	講座名	音楽Ⅱ	履修区分	2B②
科目名	音楽			単位数	2
教科の目標	芸術の幅広い活動を通して、芸術に関する各科目の特性について理解し、意図に基づいて表現するための技能を身に付け、創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わうことができる資質を育成し、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。				
科目の目標	音楽Ⅰで学習した基本的な知識や技術をさらに発展させ、より音楽の内容を追求した演奏や創造的な表現を目指して活動に取り組む。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取べき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。 ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。	実技（歌唱、器楽演奏・アンサンブル等） 鑑賞 ペーパーテスト
【思】	思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	実技（歌唱、器楽演奏・アンサンブル等） 鑑賞
【態】	主体的に学習に取り組む態度	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	授業態度、課題提出状況、忘れ物状況

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	オリエンテーション 歌唱 楽譜の理解と演奏	音楽Ⅱについて 斉唱、合唱、読譜練習	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な表現形態による歌唱活動に関心を持ち、それらの演奏効果を生かして歌うことに主体的に取り組もうとしている。【態】 ・リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを理解しながら、歌詞の内容をかかわらせて、様々な表現形態による歌唱の特徴を生かした音楽を工夫して、どのように歌うか表現意図をもっている。【知】 【思】 ・曲想を歌詞の内容とかがわらせて、イメージをもって音楽表現をするために、必要な歌唱の技能を身に付け、創造的に表している。【知】【思】 ・音楽の多様性を理解し、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。【思】 	①③⑥⑦⑨
5	6	歌唱 器楽 楽譜の理解と演奏 鑑賞	斉唱、合唱、読譜練習、鑑賞		
6	8				
7	6				
8	4				
9	6	歌唱 器楽 鑑賞	斉唱、合唱、器楽、鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の音色や奏法の特徴と表現上の効果のかかわりを理解し、それらを生かして演奏することに関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。【知】【態】 ・グループで合奏することに関心を持ち、声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、主体的に取り組もうとしている。【態】 ・楽器の音色やテクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを理解しながら、様々な表現形態の特徴を生かした音楽を工夫し、どのように演奏するか表現意図をもっている。【知】【思】 ・楽器の奏法やその特徴を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、個性豊かに表している。【知】 【思】 ・オペラやミュージカル、伝統芸能の舞台芸術の特徴を理解し、それらの文化的・歴史的背景や作曲家に関心を持ち、鑑賞することに主体的に取り組もうとしている。【態】 ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、舞台芸術の特徴を理解し、それらの価値を考えて音楽に対する理解を深め、よさや美しさを主体的に聴いている。【知】【思】 	①②③④⑥ ⑦⑧⑨⑩
10	8				
11	6				
12	6				
1	4				
2	6				
3	4				

教科名	芸術	講座名	美術Ⅱ	履修区分	普通選択 2B②
科目名	美術Ⅱ			単位数	2
教科の目標	芸術の幅広い活動を通して、芸術に関する各科目の特性について理解し、意図に基づいて表現するための技能を身に付け、創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わうことができる資質を育成し、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。				
科目の目標	美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、意図に応じて表現方法を創意工夫し、主題を生成し発想や構想を練りながら、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深め、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	提出作品
【思】	思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	構想シート アイデアスケッチ
【態】	主体的に学習に取り組む態度	美術や美術文化と豊かに関り主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	創作活動等に対する取り組む姿勢 課題の提出状況 鑑賞シート

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	【絵画】抽象画	自由な描画材を使用し、思いや感情・物を抽象画で表現する。	抽象絵画の要素を基に全体のイメージや作風・古典技法について理解し、材料の特性を生かして創造的に表している。 【知】 古典技法や新たな表現方法を見いだしながら、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練り制作しようとしている。【思】【態】	③④⑦⑨
5	6				
6	8				
7	6	【映像メディア】 ぱらぱら漫画	ものが動いて見える仕組みを理解し、単語帳で「言葉」を動かすぱらぱら漫画を制作する。	残像効果によるぱらぱら漫画の仕組みを理解し、相手に伝えたいと思う「言葉」から、文字の出し方や視点の工夫、追求するとともに、丁寧な描画を基本として創造的に表し制作しようとしている。 【知】【思】【態】	③④⑦
8	4				
9	6	【彫刻】 ふるさとの和菓子	自分自身にとっての”ふるさと”について考え、それを和菓子として具現化する。	和菓子の背景やデザインにこめられた要素、季節感や風情を理解し、「自分にとってのふるさと」というテーマから、樹脂粘土の特性を生かして表現方法を創意工夫し創造的に表制作しようとしている。 【知】【思】【態】	③⑤④⑦
10	8				
11	6	【彫刻】 ボックスアート	箱という限られた空間を上手く活かして立体物を配置し、マイワールドを制作する。	空間内での配置の変化、色を与える印象の違いから、全体のイメージや作風、様式などを捉え、テーマに応じた素材を吟味しながら、空間の使い方・物の配置を創意工夫するとともに、造形にこだわりながら主題を追求して創造的に制作しようとしている。【知】【思】【態】	③④⑦
12	6				
1	4	【絵画】 点描画	赤・青・黄の油性ペンを用い、多くの点の集合体から絵画を制作する。	視覚混合の仕組みを理解し、赤・青・黄の色と陰影の表現を創意工夫するとともに、表現方法を創意工夫し、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練って創造的に制作しようとしている。【知】【思】【態】	③④⑦
2	6				
3	4	【絵画】 人物画	アクリル絵の具を用い、友人を描画する。	造形的な特徴などをもとに全体のイメージや作風などで捉え、友人の性格・感じたこと・イメージ、夢や想像などから主題を生成し、創造的な表現の構想を練って制作しようとする。 【知】【思】【態】	③④⑦

教科名	芸術	講座名	書道Ⅱ	履修区分	2B②
科目名	書道Ⅱ			単位数	2
教科の目標	芸術の幅広い活動を通して、芸術に関する各科目の特性について理解し、意図に基づいて表現するための技能を身に付け、創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わうことができる資質を育成し、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。				
科目の目標	書道の創造的な諸活動を通して、書に対するものの見方・考え方を働かせ、表現の方法や多様性などについて理解を深め、効果的に表現するための技能を身に付け、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫する資質を育成し、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取べき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 書の実現の方法や形式、多様性について、書の創造的な諸活動を通して理解を深めている。 書の伝統に基づき、効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付け、表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの記述状況 活動の様子（意見交流における発言等） 作品
【思】	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの記述状況 活動の様子（意見交流における発言等） 作品
【態】	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 書の伝統と文化と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの記述状況 活動の様子（作品制作、鑑賞の取り組み状況）

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	書的美を求めて 篆書の学習	個性的な美の発見と表現 篆書の成立と変遷 石鼓文 召尊（金文） 甲骨文	・書的美に関わる様々な要素に目を向け、書的美を味わおうとしている。【態】 ・篆書の成立と変遷、用筆・運筆について理解し、表現することができる。【知】 ・篆書の特徴を理解し、創造的に構想して表現することができる。【思】 ・主体的に表現、鑑賞に取り組んでいる。【態】	①③④⑥ ⑦⑧⑨
5	6				
6	8	篆刻・ 刻字の学習	印の章法 「姓名印」（朱文）の制作 刻字の制作	・印の章法について理解している。【知】 ・刻る手順に従い、押印・補刀を行いながら印稿どおりに「姓名印」を制作することができる。【思】 ・刀意・刻意等を生かし立体的効果を生かして、刻字を制作することができる。【思】 ・鑑賞をとおして紙に書かれたものとは違った篆刻、刻字独自の雅趣を味わおうとしている。【態】	①③④⑥ ⑦⑧⑨
7	6				
8	4	隷書の学習	隷書の成立と変遷 乙瑛碑 曹全碑 居延漢簡 石門頌	・隷書の成立と変遷、用筆・運筆について理解し、表現することができる。【知】 ・篆書の字形の特徴を理解し、創造的に構想して表現することができる。【思】 ・主体的に表現、鑑賞に取り組んでいる。【態】	①③④⑥ ⑦⑧⑨
9	6	行書の学習	集王聖教序 温泉銘 争坐位稿 蜀素帖 灌頂歴名	・それぞれの行書の古典の用筆・運筆について理解し、表現することができる。【知】 ・それぞれの古典の特徴を理解し、創造的に構想して表現することができる。【思】 ・古典を味わい特徴を表現しようとしている。【態】	①③④⑥ ⑦⑧⑨
10	8	仮名の学習	高野切 （第一種・第二種・第三種） 三色紙の散らし書き	・それぞれの古筆の用筆・運筆について理解し、表現することができる。【知】 ・それぞれの古筆の特徴を理解し、創造的に構想して表現することができる。【思】 ・主体的に表現、鑑賞に取り組んでいる。【態】	①③④⑥ ⑦⑧⑨
11	6	漢字仮名交じりの書の学習①	感動や思いを表現しよう 作品の表現意図を考える	・漢字仮名交じりの書を構成する要素を理解している。【知】 ・自らの思いや感動を素材として、表現意図を深め、意図に基づいて表現できている。【思】 ・主体的に表現、鑑賞に取り組んでいる。【態】	①②③④ ⑤⑥⑦⑧ ⑨⑩
12	6	草書の学習	草書の成立 書譜 十七帖 忽惠帖	・草書の成立と変遷、用筆・運筆について理解し、表現することができる。【知】 ・草書の特徴を理解し、創造的に構想して表現することができる。【思】 ・主体的に表現、鑑賞に取り組んでいる。【態】	①③④⑥ ⑦⑧⑨
1	4	楷書の学習	孟法師碑 顔勤礼碑 魏靈藏造像記 薦季直表 楽毅論	・それぞれの楷書の古典の用筆・運筆について理解し、表現することができる。【知】 ・それぞれの古典の特徴を理解し、創造的に構想して表現することができる。【思】 ・古典を味わい特徴を表現しようとしている。【態】	①③④⑥ ⑦⑧⑨
2	6	漢字の書の制作	制作の手順 草稿作り 表現の工夫 漢字の書の鑑賞	・漢字の書を構成する要素を理解している。【知】 ・自らの心境や心構えを素材として表現意図を深め、意図に基づいて表現できている。【思】 ・主体的に表現、鑑賞に取り組んでいる。【態】	①②③④ ⑥⑦⑧⑨ ⑩
3	4	漢字仮名交じりの書の学習②	創造的な表現を探る 名筆に学ぶ表現の工夫 表現の広がり 漢字仮名交じりの書の鑑賞	・よりよい表現にするための表現方法について理解している。【知】 ・言葉への思いを深め、表現方法を工夫している。また、これまでに学習してきた古典、古筆を生かして表現できている。【思】 ・主体的に表現、鑑賞に取り組んでいる。【態】	①②③④ ⑤⑥⑦⑧ ⑨⑩

教科名	外国語	講座名	英語アドバンスドβ	履修区分	普通選択2C
科目名	英語アドバンスド			単位数	3
教科の目標	外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどの確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。				
科目の目標	英文法を体系的に学び、その知識を用いて「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を行う実践的な能力を養う。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	○課題テスト及び定期考査 ○活動の観察 ○ペアワークやグループ活動における対話内容や反応 ○パフォーマンステスト
【思】	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりする力を身につけている。	○課題テスト及び定期考査 ○活動の観察 ○ペアワークやグループ活動における対話内容や反応 ○パフォーマンステスト
【態】	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度が養われている。	○課題テスト等に対する取り組む姿勢と結果 ○活動の観察 ○グループ学習の発表内容と意見を聞く態度

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	9	・品詞 ・名詞と冠詞 ・動詞	・英文の構造の理解	・名詞・動詞・形容詞・副詞の区別ができる。 ・可算（不可算）名詞と冠詞のイメージを理解できる。 ・一般動詞とBe動詞の区別ができる。	①～⑩
5	9	・主語と動詞 ・自動詞と他動詞 ・目的語と補語 ・名詞の修飾	・主語と動詞の発見	・英文の主語と動詞を発見できる。 ・自動詞と他動詞、目的語と補語を見分けることができる。 ・名詞の修飾が後につづく英語の特徴を理解できる。	①～⑩
6	12	・関係詞 ・接続詞と前置詞	・関係詞の後置修飾 ・接続詞と前置詞の文構造の違い	・関係詞の品詞と前の名詞の後置修飾を理解できる。 ・接続詞の意味と文をつなぎ英文を書くことができる。 ・前置詞の意味と接続詞との違いを理解できる。	①～⑩
7～8	15	・英語の基本構造 ①	・前期の学習内容の確認	・品詞が理解できている。 ・自動詞と他動詞を区別することができる。 ・関係詞と後置修飾が理解できている。 ・接続詞と前置詞の違いが理解できている。	①～⑩
9	9	・SV00とSVOC ・動詞の型	・英語の基本は動詞の後に箱2つ	・SV00の文型をとる動詞を理解できる。 ・SVOCをとる動詞を理解できる。 ・動詞の基本的な型を理解できる。	①～⑩
10	12	・時制と完了形	・現在形、過去形、未来の表現 ・現在完了形 ・過去完了形	・それぞれの時制のもつ特徴を理解することができる。 ・英語独特の「現在完了形」の感覚を理解することができる。 ・過去完了形を使う場面を理解することができる。	①～⑩
11	9	・準動詞	・不定詞・分詞・動名詞の区別	・品詞をベースとして準動詞を理解することができる。 ・主語や目的語、前置詞の後の動名詞を理解できる。 ・現在分詞と過去分詞の役割の違いを理解できる。 ・副詞として働く分詞構文を理解することができる。	①～⑩
12	9	・助動詞と仮定法	・助動詞と仮定法との関連性	・助動詞がもつそれぞれの意味を理解する。 ・助動詞がもつ「現実離れ」を理解できる。 ・助動詞の後のhave+過去分詞の形と意味を理解できる。 ・助動詞と仮定法のつながりを理解することができる。	①～⑩
1	6	・比較	・比較の種類と応用	・比較に用いられる品詞を理解することができる。 ・3種類の比較を理解することができる。 ・比較の様々な形に書き換えることができる。	①～⑩
2	9	・無生物主語	・無生物主語と文型	・無生物を主語として英文構造を理解できる。 ・無生物主語で用いられる動詞を理解できる。	①～⑩
3	6	・英語の基本構造 ②	・本年度の学習内容の確認	・品詞をベースとして、文法を理解することができる。 ・自動詞と他動詞を区別し、英文を理解できる。 ・接続詞と前置詞を区別し、英文を理解できる。 ・助動詞と仮定法を使い豊かに表現することができる。	①～⑩

教科名	商業	講座名	ビジネス総合 I	履修区分	普通選択 2C
科目名	ビジネス総合 I			単位数	3
教科の目標	商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、ビジネスの意義や役割について理解させるとともに、ビジネスの諸活動を主体的に、合理的に、かつ倫理観をもって行い、経済社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。				
科目の目標	ビジネスにおける基礎的・基本的な内容を習得させ、経済社会の一員として望ましい心構えを身につけさせる。加えてより専門的な学習への動機付けや卒業後の進路についての生徒の意識を高める。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、ビジネスの意義や役割を理解している。 商業の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動を合理的に適切に処理することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・実技演習 ・実技テスト ・筆記テスト ・検定試験への取り組み
【思】	思考・判断・表現	ビジネスの諸活動に関する諸問題の解決を目指して自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付け、その成果を的確に表現する。	<ul style="list-style-type: none"> ・実技演習 ・実技テスト ・筆記テスト ・検定試験への取り組み
【態】	主体的に学習に取り組む態度	ビジネスの諸活動について関心を持ち、その改善や向上を目指して意欲的に取り組むとともに、ビジネスに対する望ましい心構えや実践的な態度を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・授業振り返りシート ・課題提出状況 ・検定試験への取り組み

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	9	商業の学習 ガイダンス	授業の受け方・1年間の流れ・検定試験への取り組みなど全体像の学習ガイダンス、ビジネスマナー、身だしなみ・社会人常識。	商業を学ぶ目的や学び方を理解しているか。【態】 経済社会の一員として望ましい心構えや態度を身につけているか。【態】	①②③ ④⑥⑦ ⑧⑨⑩
5	9	ビジネス基礎 計算の基礎	電卓の基礎、正確さ、スピード、丁寧さを身につけ、普通計算、伝票算・ビジネス計算に取り組む。	学習内容に沿った知識・技術を身につけているか。【知・思】 学習内容に沿った実技・筆記テストを実施する。【知・思】	
6	12		全商ビジネス計算検定への取り組み。 全経計算能力検定への取り組み。	学習成果の確認や学習習慣の形成の手段として、検定試験を受験する。【知・態】	
7	9				
8	6	ビジネス文書の作成	次の項目について、実技および座学で学習する。 1. 文章の入力・データ入力の基礎	単漢字変換・文節変換・連文節変換を理解し、目的に応じた使い分けができるか。【知・思】	①②③ ④⑥⑦ ⑧⑨⑩
9	9	情報処理	2. ページ設定 3. 移動とコピー 4. 基本的な文書や表の構成 5. 文字や表の修飾 6. 画像を活用した文書や表の作成	行・列の幅の調整や、印刷時のレイアウトを正しく設定できるか。【知・思】 数式や関数を正しく選択し、設定することができるか。【知・思】 データの範囲や種類を正しく選択し、効果的なグラフを作成できるか。【知・思】	
10	12		7. 基本的なワークシートの編集 8. 関数の利用 9. 罫線 10. グラフの作成	Back SpaceとDeleteの機能を理解し、目的に応じた使い分けができるか。【知・思】 文書のレイアウトを正しく設定できるか。また必要に応じて正しく変更できるか。【知・思】	
11	9		11. 検定試験に対応した筆記学習	移動とコピーを正しく使い分けることができるか。【知・思】	
12	9		全商ビジネス文書検定への取り組み。 全商情報処理検定への取り組み。	実務で使用される文書の構成をや種類を理解し、ソフトウェアを利用し正しく作成できるか。【知・思】 文字の拡大や縮小、網掛け、画像の挿入など、文書をより見やすく効果的に作成できるか。【知・態】	
1	6			学習内容に沿った実技・筆記テストを実施する。【知・態】 各種検定試験を受験する。【知・態】	
2	9				
3	6	ワークシートの活用	カレンダーなど身近な題材を表計算ソフトを利用し作成する。	学習内容に沿った技術・知識を身につけているか【知・思・態】	①②③ ④⑥⑦ ⑧⑨⑩

教科名	地理歴史	講座名	世界史探究	履修区分	必修
科目名	世界史探究			単位数	3
教科の目標	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。				
科目の目標	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理能力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	世界の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件やわが国の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	①学習評価（生徒） (1) パフォーマンス評価（自己、相互） (2) 成果物評価（自己、相互） ②学習評価（教員） (1) パフォーマンス評価 (2) 成果物評価 (3) 考査評価
【思】	思考・判断・表現	世界の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養っている。	①学習評価（生徒） (1) パフォーマンス評価（自己、相互） (2) 成果物評価（自己、相互） ②学習評価（教員） (1) パフォーマンス評価 (2) 成果物評価 (3) 考査評価
【態】	主体的に学習に取り組む態度	世界の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵（かん）養される日本国民としての自覚、歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。	①学習評価（生徒） (1) パフォーマンス評価（自己、相互） (2) 成果物評価（自己、相互） ②学習評価（教員） (1) パフォーマンス評価 (2) 成果物評価 (3) 考査評価

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	9	第Ⅰ部 諸地域の歴史的特質の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・文明の成立と古代文明の特質 ・中央ユーラシアと東アジア世界 	<p>【知】それぞれの気候や風土など、文明が成立した背景を基に、古代文明に共通する歴史的特徴を理解している。</p> <p>【思】考古学的資料をもとに、農耕、牧畜が基礎となる文明の特色について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主】それぞれの古代文明について、自分が抱いた興味、関心や疑問、追求してみたいことを見いだして、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	④⑤⑥⑦ ⑧⑨
5	9		<ul style="list-style-type: none"> ・南アジア世界と東南アジア世界の展開 ・西アジアと地中海周辺の国家形成 	<p>【知】南アジア・西アジアにおいて、どのように国家が形成され、それぞれの文化が周囲や後世にどのような影響を与えたか理解している。</p> <p>【思】考古学資料に加えて、史料の読解を通じて、それぞれの地域の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。</p> <p>【主】アジア諸地域について、自分が抱いた興味、関心や疑問、追求してみたいことを見いだして、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	
6	12	第Ⅱ部 諸地域の交流・再編	<ul style="list-style-type: none"> ・イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 ・イスラーム教の伝播と西アジアの動向 	<p>【知】それぞれの地域の政治が複雑化していくなかで、国家が興亡し変化をする基となる政治・社会や文化の特色を理解している。</p> <p>【思】諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響のつながりに着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問いを表現している。</p> <p>【主】諸地域の交流・再編について、自分が抱いた興味、関心や疑問、追求してみたいことを見いだして、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	
7	9		<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ世界の変容と展開 ・東アジア世界の展開とモンゴル帝国 ・大交易・大交流の時代 	<p>【知】各地に巨大な権力を持つ大帝が成立する背景や影響などを理解している。</p> <p>【思】時代の転換に着目して、中世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。</p> <p>【主】それぞれの帝国について、自分が抱いた興味、関心や疑問、追求してみたいことを見いだして、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	
8	6		<ul style="list-style-type: none"> ・アジア諸帝国の繁栄 	<p>【知】主権国家および主権国家体制の成立について、それまでのヨーロッパの状況と比較したうえで理解している。</p> <p>【思】史料や美術作品の図像などをもとに、ヨーロッパ近世の特質について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主】近世ヨーロッパになる過程やその後について、関心や疑問、追求してみたいことを見いだして、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	
9	9		<ul style="list-style-type: none"> ・近世ヨーロッパ世界の動向 	<p>【知】産業革命や市民革命について、それぞれの経緯や与えた影響について、理解している。</p> <p>【思】史料やそれぞれの思想家の主張を踏まえ、産業革命・市民革命についてとその影響についてを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主】それぞれの事象や事象の背景となる思想について、関心や疑問、追求してみたいことを見いだして、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	
10	12	第Ⅲ部 諸地域の結合・変容	<ul style="list-style-type: none"> ・産業革命と環大西洋革命 ・イギリスの優位と欧米国民国家の形成 	<p>【知】帝国主義下のアジアについて、ヨーロッパとの関係を踏まえて理解している。</p> <p>【思】アジアとヨーロッパの関係を軸に、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。</p> <p>【主】アジアの激動や植民地化について、関心や疑問、追求してみたいことを見いだして、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	
11	9		<ul style="list-style-type: none"> ・アジア諸地域の動揺 	<p>【知】二度の世界大戦の、その特徴、戦中・戦間・戦後に起きた事象の関連性を理解している。</p> <p>【思】時代の転換に着目して、戦間期の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。</p> <p>【主】戦争や戦争の要因となる事柄について、関心や疑問、追求してみたいことを見いだして、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	
12	9		<ul style="list-style-type: none"> ・帝国主義とアジアの民族運動 	<p>【知】戦後体制のあり方を冷戦からデタントの流れやそれぞれの事象を理解している。</p> <p>【思】複雑化する今日の問題点について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。</p> <p>【主】地球課題の解決にむけて、よりよい社会の実現を視野に主体的に探求しようとしている。</p>	
1	6		<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦と世界の変容 	<p>【知】戦後体制のあり方を冷戦からデタントの流れやそれぞれの事象を理解している。</p> <p>【思】複雑化する今日の問題点について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。</p> <p>【主】地球課題の解決にむけて、よりよい社会の実現を視野に主体的に探求しようとしている。</p>	
2	9	第Ⅳ部 地球世界の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦と新しい国際秩序 	<p>【知】戦後体制のあり方を冷戦からデタントの流れやそれぞれの事象を理解している。</p> <p>【思】複雑化する今日の問題点について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。</p> <p>【主】地球課題の解決にむけて、よりよい社会の実現を視野に主体的に探求しようとしている。</p>	
3	6		<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦と今日の世界 	<p>【知】戦後体制のあり方を冷戦からデタントの流れやそれぞれの事象を理解している。</p> <p>【思】複雑化する今日の問題点について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。</p> <p>【主】地球課題の解決にむけて、よりよい社会の実現を視野に主体的に探求しようとしている。</p>	

教科名	地理歴史	講座名	地理探究γ	履修区分	選択2C
科目名	地理探究			単位数	2
教科の目標	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。				
科目の目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理能力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	①学習評価（生徒） （1）パフォーマンス評価（自己、相互） ②学習評価（教員） （1）パフォーマンス評価 （2）成果物評価 （3）筆記評価（定期考査）
【思】	思考・判断・表現	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	【ルーブリック及び記述】 ①学習評価（生徒） （1）パフォーマンス評価（自己、相互） （2）成果物評価（自己、相互） ②学習評価（教員） （1）パフォーマンス評価 （2）成果物評価 （3）筆記評価（定期考査）
【態】	主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。	【ルーブリック及び記述】 ①学習評価（生徒） （1）ポートフォリオ評価（自己、相互） （2）単元のまとめレポート（自己） 学習成果、成長の振り返り （3）成果物評価 ②学習評価（教員） （1）ポートフォリオ評価 （2）単元のまとめレポート （3）成果物評価

●学習計画 ※単元内容の実施時期、時数の変更の可能性があります。

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	9	A 現代世界の系統地理的考察	(1) 自然環境 (2) 資源・産業 (3) 交通・通信, 観光	<p>【知】①地形、気候、生態系などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解している。②資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解している。③交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解している。</p> <p>【思】①地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。②資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。③交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主】現代世界の系統地理的考察について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとしている。</p>	①～⑩
5～6	21				
7～8	15				
9	9				
10	12				
11	9	B 現代世界の地誌的考察	(1) 現代世界の地域区分 (2) 現代世界の諸地域	<p>【知】①世界や世界の諸地域に関する各種の主題図や資料を基に、世界を幾つかの地域に区分する方法や地域概念、地域区分の意義などについて理解している。②世界や世界の諸地域について、各種の主題図や資料を踏まえて地域区分をする地理的技能を身に付けている。③幾つかの地域に区分した現代世界の諸地域を基に、諸地域に見られる地域的特色や地球的課題などについて理解している。④幾つかの地域に区分した現代世界の諸地域を基に、地域の結び付き、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解している。</p> <p>【思】①世界や世界の諸地域の地域区分について、地域の共通点や差異、分布などに着目して、主題を設定し、地域の捉え方などを多面的・多角的に考察し、表現している。②現代世界の諸地域について、地域の結び付き、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主】現代世界の地誌的考察について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとしている。</p>	①～⑩
12	9				
1	6				
2～3	9	C 現代世界におけるこれからの日本の国土像	(1) 持続可能な国土像の探究	<p>【知】現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究を基に、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究する手法などについて理解している。</p> <p>【思】現代世界におけるこれからの日本の国土像について、地域の結び付き、構造や変容、持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し、表現している。</p> <p>【主】現代世界におけるこれからの日本の国土像について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとしている。</p>	①～⑩

教科名	外国語	講座名	英語ベーシック	履修区分	普通選択2C
科目名	英語ベーシック			単位数	3
教科の目標	外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどの確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。				
科目の目標	1 コミュニケーションを図ることができる。 2 情報や考えなどを理解することができる。 3 情報や考えなどを伝えることができる。 4 言語の運用方法を社会言語的な側面から理解することができる。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	○課題テスト及び定期考査
【思】	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりする力を身につけている。	○課題テスト及び定期考査 ○活動の観察 ○パフォーマンステスト
【態】	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度が養われている。	○課題テスト等に対する取り組む姿勢と結果 ○活動の観察 ○グループ学習の発表内容と意見を聞く態度

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	9	オリエンテーション Unit1 1 Lito's leaf cutouts	・動詞の現在形/命令文/勧誘の文/代名詞 ・語彙を増やす/芸術	[知識・技能]文法事項の理解・運用ができてきているかどうか。 [思考・判断・表現] 文法事項を使って、自分の考えていることを表現できるかどうか 長文の題材に対する理解ができてきているか。 [主体的] 提示された課題に対する取り組み・内容の深さ 6月6日～6月9日 前期中間考査 9月5日～9月8日 前期期末考査	①②③④ ⑥⑦⑧⑨
5	9	Unit2-4 2 J.league's 30th anniversary	・動詞の過去形/進行形/未来を表す表現 ・語彙を増やす/スポーツ		
6	12	Unit5 3 Restoring shuri castle	・動詞の現在完了形 ・語彙を増やす/建築		
7	9	Unit6 4 Canadian Maple Syrup	・助動詞 ・語彙を増やす/カナダ		
8	6	Unit7 5 What is Spogomi?	・受動態 ・語彙を増やす/ゴミ・環境		
9	9	Unit8 6 Harami chan	・不定詞① ・語彙を増やす/音読/有名人		
10	12	Unit9-10 7 Antarctic research	・不定詞②・動名詞 ・語彙を増やす/音読/南極		
11	9	Unit11 8 High school deer dancing club	・分詞 ・語彙を増やす/ダンス		
12	9	Unit12 9 Osagari Culture in Tanegashima	・関係詞 ・語彙を増やす/文化		
1	6	Unit13 10 Shimaenaga, "Snow Fairies"	・SV00/SVOC ・語彙を増やす/音読/動物	11月14日～17日 後期中間考査	
2	9	Unit14 11 Welcom to Morocco	・比較 ・語彙を増やす/海外	2月19日～22日 学年末考査	
3	6	Unit15 12 Loop, a new re-use system	・間接疑問文 ・語彙を増やす/環境問題		

教科名	理科	講座名	物理基礎 α	履修区分	特進選択 2 X
科目名	物理基礎			単位数	2
教科の目標	自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。				
科目の目標	物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究する。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理能力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	①自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているかについて、発言や記述の内容、ペーパーテスト等から状況を把握する。 ②観察、実験の基本操作を習得するとともに、観察、実験の計画的な実施、結果の記録や整理、資料の活用の仕方などを身に付けているかについて、行動の観察や記述の内容、パフォーマンステスト、ペーパーテストなどから状況を把握する。
【思】	思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を解釈し表現するなど、科学的に探究する過程において思考・判断・表現しているかを、発言や記述の内容、ペーパーテストなどから状況を把握する。
【態】	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしているかを、発言や記述の内容、行動の観察などから状況を把握する。

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	(ア) 運動の表し方	㉞ 物理量の測定と扱い方 ㉟ 運動の表し方 ㊱ 直線運動の加速度	【知】物体の運動を日常生活や社会と関連付けながら、速度・加速度の変化による落体の運動を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 【思】物体の運動について、観察、実験などを通して探究し、運動の表しにおける速度・加速度の規則性や関係性を見いだして表現すること。 【主】物体の運動についての事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	⑨
5	6				
6	8	(イ) 様々な力とその働き	㉞ 様々な力 ㉟ 力のつり合い ㊱ 運動の法則 ㊲ 物体の落下運動	【知】物体の運動を日常生活や社会と関連付けながら、力の種類・力のつり合い、力と加速度の関係を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 【思】物体の運動について、観察、実験などを通して探究し、力の種類・力のつり合い、力と加速度の規則性や関係性を見いだして表現すること。 【主】力が引き起こす事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	③ ⑨
7	6	(ウ) 力学的エネルギー	㉞ 運動エネルギーと位置エネルギー ㉟ 力学的エネルギーの保存	【知】エネルギーを日常生活や社会と関連付けながら、仕事とエネルギーの関係・力学的エネルギー保存の法則を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 【思】エネルギーについて、観察、実験などを通して探究し、力学的エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現すること。 【主】エネルギーのやりとりで起こる事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	③ ⑨
8	4	(イ) 熱	㉞ 熱と温度 ㉟ 熱の利用	【知】エネルギーを日常生活や社会と関連付けながら、仕事とエネルギーの関係・力学的エネルギー保存の法則を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 【思】エネルギーについて、観察、実験などを通して探究し、力学的エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現すること。 【主】エネルギーのやりとりで起こる事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	③ ⑨
9	6	(ア) 波	㉞ 波の性質 ㉟ 音と振動	【知】波の性質を日常生活や社会と関連付けながら、振動数・波長・周期・波の速度の関係を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 【思】波の性質について、観察、実験などを通して探究し、振動数・波長・周期・波の速度の規則性や関係性を見いだして表現すること。 【主】波が引き起こす事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	③ ⑦ ⑨
10	8				
11	6	(ウ) 電気	㉞ 物質と電気抵抗 ㉟ 電気の利用	【知】電気について日常生活や社会と関連付けながら、電気抵抗の長さ・断面積による変化を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 【思】電気について、観察、実験などを通して探究し、力学的エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現すること。 【主】電気現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	③ ⑦ ⑨
12	6				
1	4	(エ) エネルギーとその利用	㉞ エネルギーとその利用	【知】エネルギーの利用について日常生活や社会と関連付けながら、人類が利用可能なエネルギーの特性を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 【思】エネルギーの利用について、観察、実験などを通して探究し、原子力発電における課題を見いだして表現すること。 【主】エネルギーの利用について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	③ ⑦ ⑨
2	6				
3	4	(オ) 物理学が拓く世界	㉞ 物理学が拓く世界	【知】物理学を日常生活や社会と関連付けながら、現在の科学技術を理解するとともに、物理学との結びつきの認識を深めさせる。 【思】物理学の応用や成果について探究し、物理学と日常生活を支えている科学技術との関係性を見いだして表現すること。 【主】物理学で解明できる事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	④ ⑦ ⑧ ⑨

教科名	理科	講座名	生物基礎α	履修区分	特進選択2X
科目名	生物基礎			単位数	2
教科の目標	自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。				
科目の目標	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	定期考査の知識・理解を問う問題（4回）
【思】	思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	定期考査の思考・判断・表現を問う問題（4回）
【態】	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	実験に取り組む態度レポート 授業に取り組む態度レポート

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	生物の特徴	生物の共通性と多様性	人間も生物であることを鑑みながら、多様な生物の共通性や多様性を理解することができる。【関】【知】	⑦⑨
5	6		細胞とエネルギー	生物の最小単位である細胞の働きや構造を理解するとともに有機的に機能していることを考えることができる。【思】【知】	⑦⑨
6	8	遺伝子とその働き	遺伝情報とDNA	DNAの存在が遺伝という子孫に情報を伝えることを理解することができる。【思】【知】	⑦⑨⑩
7	6		遺伝情報の分配	細胞分裂の本質を理解し、核分裂が遺伝情報を分配することに繋がる事を理解できる。【観】	⑦⑨
8	4		遺伝情報とタンパク質の合成	遺伝子とタンパク質の繋がりを理解し、生物の主要な成分であるタンパク質に関して興味を持って調べられる。【関】	⑦⑨
9	6	生物の体内環境とその維持	体内環境	体液の存在が体内環境そのものであることを理解し、外部の環境との違いを理解できる。	③⑥⑦⑨
10	8		体内環境と維持のしくみ	内臓が体液の正常化や維持を目的に存在していることを理解し、自らの健康を理解できる。【関】【知】	③⑥⑦⑨
11	6		免疫	生体防御の仕組みを理解し、日常生活の健康管理や維持を意識することができる。【関】【知】	③⑥⑦⑨
12	6	生物の多様性と生態系	植生と遷移	動物と植物の違いについてしっかりと理解し、植物に必要な要素について考えることができる。【思】【知】	⑤⑦⑨
1	4		気候とバイオーム	気候が植物の生息に密接に関わっていることを理解し、身の回りの生物の生息条件について考えられる。【思】【観】【知】	⑤⑦⑨
2	6		生態系と物質循環	物質としての生物を捕らえさせ、特に炭素等の循環について考えられる。【思】【知】	⑦⑨
3	4		生態系のバランスと保全	生態系の保全に自らの意思で積極的に活動できる基盤が作られているか。【関】【知】	③④⑦⑧⑨

教科名	理科	講座名	化学α	履修区分	特進選択
科目名	化学			単位数	4
教科の目標	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。				
科目の目標	化学的な事物・現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する技術や能力、態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則への理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理能力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取べき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深めるとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	単元テストの結果 実験操作の進行 パフォーマンステストの結果
【思】	思考・判断・表現	化学の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	実験レポートの記述内容 グループ学習の活動・発表内容
【態】	主体的に学習に取り組む態度	化学的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	単元テスト等に対する取り組む姿勢 フィードバックへの記述とその姿勢 グループ学習に取り組む態度

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	12	物質の状態 気体の性質	物質の三態 気体・液体間の状態変化 気体	状態変化に伴うエネルギーの出入り、気液平衡や蒸気圧についてグラフを関連づけながら考えることができる。【思】 気体の圧力・温度・体積の関係性を的確に捉えることができる。【知】	①②⑥
5	12	気体の性質 溶液の性質	気体の状態方程式 溶解	気体の状態を数式に表すことができる。【知】 物質の溶解を、電気陰性度との関係性から考えることができる。【思】 固体や気体の溶解度について、温度などの条件を踏まえて考えることができる。【思】	②④⑦
6	16	溶液の性質 固体の性質	希薄溶液の性質 コロイド 結晶 金属結晶の構造 イオン結晶の構造 分子結晶と共有結合の結晶	発泡ポリスチレン球を用いて立方格子の結晶構造を理解し、機械的性質との関連性を見いだそうとしている。【態】	①②③
7	12	化学反応と熱・光 電池と電気分解	反応とエンタルピー変化 ヘスの法則 光とエネルギー 電池	化学反応によるエンタルピー変化を、ヘスの法則を踏まえ、複数の反応経路について考えられるようになる。【思】 エネルギーの変換と化学反応を関連づけて理解しようとしている。【態】	⑦⑧
8	8	電池と電気分解 化学反応の速さ	電池 電気分解 反応の速さ	外部から加えた電気エネルギーによって化学反応が起こる原理について調べようとする。【態】 化学反応の速さの表し方を、物質の濃度変化に関連づけられている。【知】	②⑥⑦
9	12	化学反応の速さ 化学平衡	反応速度を変える条件 反応のしくみ 可逆反応と化学平衡	化学反応の速さを変化させる条件を見いだそうとしている。【態】 可逆反応における平衡状態について、物質の濃度との関連性を明らかにしながら理解を深めている。【思】	③⑦⑧
10	16	化学平衡 水溶液中の化学平衡 周期表と元素 非金属元素の単体と化合物	平衡の移動 電離平衡 塩の水への溶解 周期表と元素 水素とその化合物	水溶液中の化学平衡について、様々な濃度条件をもとに考えることができる。【思】 周期表の規則性や特徴を踏まえ、各元素の分類や性質の類似性について理解を深めている。【知】	②③⑨
11	12	非金属元素の単体と化合物 典型金属元素の単体と化合物	非金属元素の単体とその化合物 典型金属元素の単体とその化合物	典型元素の単体や化合物について、反応や性質を考え、調べようとする。【態】	②④⑦
12	12	遷移金属元素の単体と化合物 金属イオンの分離と確認	遷移元素の特徴 遷移元素とその化合物 金属イオンが検出できる反応 金属イオンの系統分離と確認	遷移元素の単体や化合物について、反応や性質を考え、調べようとする。【態】 金属イオンの反応性や沈殿生成の傾向を踏まえ、分離方法について系統立てた考えを表現することができる。【思】	②④⑦
1	8	有機化合物の特徴と構造 炭化水素 アルコールと関連化合物	有機化合物の特徴 有機化合物の構造式の決定 飽和炭化水素 不飽和炭化水素 アルコールとエーテル	有機化合物の性質や構造を理解し、分類や分析の仕方を理解できる。【知】 炭化水素の特徴や反応性を理解し、有機化合物特有の化学反応について理解する。【知】	②③
2	12	アルコールと関連化合物 芳香族化合物	アルデヒドとケトン カルボン酸 エステル・油脂・セッケン 芳香族化合物	酢酸とエタノールから酢酸エチルを合成し、その性質を調べることができる。【思】 芳香族化合物の特徴を理解し、脂肪則化合物との違いを明らかにできる。【思】	②③⑦⑧
3	8	高分子化合物とは何か 天然高分子化合物 合成高分子化合物	高分子化合物の特徴と分類 天然高分子化合物 合成高分子化合物	生活や生命に関わる高分子化合物の基礎的な分類、特徴を調べようとする。【態】 特別な機能をもった機能性高分子の種類や、その働きを考えることができる。【思】	①②③

教科名	外国語	講座名	英語アドバンストα	履修区分	特進選択2Y
科目名	英語アドバンスト			単位数	3
教科の目標	外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどの確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。				
科目の目標	英文法を体系的に学んで文法知識を獲得すると同時に、得た文法知識を用いて問題を解き、中でも英作文の実践的な能力を養う。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	○課題テスト及び定期考査 ○活動の観察 ○パフォーマンステスト
【思】	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりする力を身につけている。	○課題テスト及び定期考査 ○活動の観察 ○パフォーマンステスト
【態】	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度が養われている。	○課題テスト等に対する取り組む姿勢と結果 ○活動の観察 ○グループ学習の発表内容と意見を聞く態度

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	9	I 英語の構造を理解する (1) 【否定】	<ul style="list-style-type: none"> 英語の語順になれる 特徴的な否定の表現を確認する 絵の説明 	[知識・技能] 文法事項の理解・運用ができてきているかどうか。 ※復習として参考書を使った小テストを毎週おこなう	①②③④ ⑥⑦⑧⑨
5	9	I 英語の構造を理解する (2) 【強調・無生物主語・名詞構文】	<ul style="list-style-type: none"> 英文をふくらませる 各文法事項の特徴を確認する 単語の説明 	[思考・判断・表現] 文法事項を使って、自分の考えていることを表現できるかどうか	
6	12	I 英語の構造を理解する (3)	<ul style="list-style-type: none"> Essay Writing 1 (説明文) SVC, SVOの表現の確認 	[主体的] 提示された課題に対する取り組み・内容の深さ	
7	9	I 英語の構造を理解する (4) 【話法】	<ul style="list-style-type: none"> SVOO, SVOCの表現の確認 話法のルールを使っての言い換え 伝言 	6月6日～6月9日 前期中間考査	
8	6	II 日本語と英語の表現・発想の違いを理解する (1)	<ul style="list-style-type: none"> Essay Writing 2 (意見文) 英語の主語に注目する 	9月5日～9月8日 前期期末考査	
9	9	II 日本語と英語の表現・発想の違いを理解する (2) 【前置詞】	<ul style="list-style-type: none"> 否定表現の復習 いろいろな前置詞のもつ意味を確認する 		
10	12	II 日本語と英語の表現・発想の違いを理解する (3) 【群動詞】	<ul style="list-style-type: none"> 英文中の時制 群動詞の確認 	[知識・技能] 文法事項の理解・運用ができてきているかどうか。 ※復習として参考書を使った小テストを毎週おこなう	
11	9	II 日本語と英語の表現・発想の違いを理解する (4) 【疑問詞】	<ul style="list-style-type: none"> 能動態、受動態での表現 疑問詞の復習 	[思考・判断・表現] 文法事項を使って、自分の考えていることを表現できるかどうか	
12	9	III 意味を伝える工夫をする (1) 【代名詞】	<ul style="list-style-type: none"> Essay Writing 3 (意見文) 自分にとって親しみやすい表現を考える 代名詞の特徴的なルールを確認する 	[主体的] 提示された課題に対する取り組み・内容の深さ	
1	6	III 意味を伝える工夫をする (2)	<ul style="list-style-type: none"> 英語に直しやすい日本語 	11月14日～17日 後期中間考査	
2	9	III 意味を伝える工夫をする (3)	<ul style="list-style-type: none"> 日本語と英語の意味の違い 	2月19日～22日 学年末考査	
3	6	1年間のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> Essay Writing 4 		

教科名	地理歴史	講座名	世界史探究 (α I)	履修区分	必修
科目名	世界史探究			単位数	2
教科の目標	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。				
科目の目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	世界の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件やわが国の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	①学習評価 (生徒) (1) パフォーマンス評価 (自己、相互) (2) 成果物評価 (自己、相互) ②学習評価 (教員) (1) パフォーマンス評価 (2) 成果物評価 (3) 考査評価
【思】	思考・判断・表現	世界の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養っている。	①学習評価 (生徒) (1) パフォーマンス評価 (自己、相互) (2) 成果物評価 (自己、相互) ②学習評価 (教員) (1) パフォーマンス評価 (2) 成果物評価 (3) 考査評価
【態】	主体的に学習に取り組む態度	世界の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵 (かん) 養される日本国民としての自覚、歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。	①学習評価 (生徒) (1) パフォーマンス評価 (自己、相互) (2) 成果物評価 (自己、相互) ②学習評価 (教員) (1) パフォーマンス評価 (2) 成果物評価 (3) 考査評価

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	第Ⅰ部 諸地域の歴史的特質の形成	・文明の成立と古代文明の特質	【知】気候や風土などの文明成立の背景を基に、古代文明に共通する歴史的特徴を理解している。 【思】考古学的資料をもとに、農耕が基礎となる文明について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】それぞれの古代文明について、自分が抱いた興味、関心や疑問、追求してみたいことを見いだし、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	④⑤⑥⑦ ⑧⑨
5	6		・中央ユーラシアと東アジア世界	【知】東アジア・中央ユーラシア世界の歴史を基に、互いの交流などの様子も踏まえ、特質を理解する。 【思】風土を示す写真や史料をもとに、政治の特質について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】東アジア文化圏について、自分が抱いた興味、関心や疑問、追求してみたいことを見いだし、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	
6	8	第Ⅱ部 諸地域の交流・再編	・南アジア世界と東南アジア世界の展開 ・西アジアと地中海周辺の国家形成	【知】南アジア・西アジアにおいて、どのように国家が形成され、それぞれの文化が周囲や後世にどのような影響を与えたか理解している。 【思】考古学資料に加えて、史料の読解を通じて、それぞれの地域の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。 【主】アジア諸地域について、自分が抱いた興味、関心や疑問、追求してみたいことを見いだし、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	
7	6		・イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 ・イスラーム教の伝播と西アジアの動向	【知】イスラーム教がどのように成立し、勢力を拡大し、影響を与えるようになったか理解している。 【思】イスラーム政権拡大を示す地図や、図像資料をもとに。イスラーム教成立が西アジア・北アフリカを中心として与えた影響を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】イスラーム教の与えた影響について、自分が抱いた興味、関心や疑問、追求してみたいことを見いだし、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	
8	4		・ヨーロッパ世界の変容と展開	【知】ヨーロッパ中世世界が複雑化していくなかで、国家が興亡し変化をする基となる、政治・社会や文化の特色を理解している。 【思】諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響のつながりに着目し、読み解く観点について考察し、問いを表現している。 【主】ヨーロッパの中世について、自分が抱いた興味、関心や疑問、追求してみたいことを見いだし、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	
9	6		東アジア世界の展開とモンゴル帝国	【知】10～13世紀の東アジアの情勢について、周辺の民族との交流を踏まえて理解をしている。 【思】宋・金・モンゴル帝国の変遷を示す地図や史料をもとに、中国史における宋王朝と、金・モンゴルなどの関連や変遷の世界史的な意義を、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】10～13世紀の東アジアについて、自分が抱いた興味、関心や疑問、追求してみたいことを見いだし、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	
10	8		・大交易・大交流の時代 ・アジア諸帝国の繁栄	【知】各地に巨大な権力を持つ大帝国が成立する背景や影響などを理解している。 【思】時代の転換に着目し、世界の特色について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】それぞれの帝国について、自分が抱いた興味、関心や疑問、追求してみたいことを見いだし、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	
11	6		・近世ヨーロッパ世界の動向	【知】主権国家および主権国家体制の成立について、それまでのヨーロッパの状況と比較したうえで理解している。 【思】史料や美術作品の図像などをもとに、ヨーロッパの近世の特質について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】近世ヨーロッパになる過程や、その後について、関心や疑問、追求してみたいことを見いだし、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	
12	6				
1	4	第Ⅲ部 諸地域の結合・変容	・産業革命と環大西洋革命	【知】産業革命や市民革命について、それぞれの経緯や与えた影響について、理解している。 【思】史料やそれぞれの思想家の主張を踏まえ、産業革命・市民革命についてとその影響についてを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】それぞれの事象や事象の背景となる思想について、関心や疑問、追求してみたいことを見いだし、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	
2	6		・イギリスの優位と欧米国民国家の形成		
3	4		・アジア諸地域の動揺	【知】帝国主義下のアジアについて、ヨーロッパとの関係を踏まえて理解している。 【思】アジアとヨーロッパの関係を軸に、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し表現している。 【主】アジアの激動や植民地化について、関心や疑問、追求してみたいことを見いだし、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	

教科名	地理歴史	講座名	日本史探究	履修区分	特進選択 2 Y
科目名	日本史探究			単位数	2
教科の目標	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。				
科目の目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取べき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点	観点の趣旨	評価方法
【知】 知識・技能	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	①学習評価（生徒） (1) パフォーマンス評価（自己、相互） (2) 成果物評価（自己、相互） ②学習評価（教員） (1) パフォーマンス評価 (2) 成果物評価 (3) 考査評価
【思】 思考・判断・表現	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養っている。	①学習評価（生徒） (1) パフォーマンス評価（自己、相互） (2) 成果物評価（自己、相互） ②学習評価（教員） (1) パフォーマンス評価 (2) 成果物評価 (3) 考査評価
【態】 主体的に学習に取り組む態度	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。	①学習評価（生徒） (1) パフォーマンス評価（自己、相互） (2) 成果物評価（自己、相互） ②学習評価（教員） (1) パフォーマンス評価 (2) 成果物評価 (3) 考査評価

●学習計画 ※単元内容の実施時期、時数の変更の可能性があります。

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	6	A 原始・古代の日本と東アジア (1) 黎明期の日本列島と歴史的環境	・オリエンテーション ・日本文化のあけぼの	【知】旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解している。 【思】黎明期の日本列島の変化に着目して、原始社会の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。 【主】日本列島の歴史的環境と文化の形成について考察することを通じ、旧石器文化や縄文文化、弥生文化の特色を明らかにしようとしている。	④⑦⑧⑨
5	6	(2) 歴史資料と原始・古代の展望	・資料読解	【知】原始・古代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思】歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、原始・古代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。	④⑦⑧⑨
6	8	(3) 古代の国家・社会の展開と画期（歴史の解釈、説明、論述）	・古墳とヤマト政権 ・律令国家の形成 ・貴族政治の展開	【知】国家の形成と古墳文化、律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、原始から古代の政治・社会や文化の特色を理解している。 【思】中国大陸・朝鮮半島との関係、隋・唐など中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して、主題を設定し、小国の形成と連合、古代の国家の形成の過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 【主】東アジアとの関係の変化や社会の変化を考察することを通じて、文化とのつながりを主体的に追究しようとしている。	④⑦⑧⑨
7	6				
8	4	B 中世の日本と世界 (1) 中世への転換と歴史的環境	・院政と武士の躍進	【知】貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の転換を理解している。 【思】時代の転換に着目して、中世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。 【主】古代との比較などを通して、中世の特色を主体的に探究しようとしている。	④⑦⑧⑨
9	6				
10	8	(2) 歴史資料と中世の展望	・資料読解	【知】中世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思】歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、中世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。	④⑦⑧⑨
11	6	(3) 中世の国家・社会の展開と画期（歴史の解釈、説明、論述）	・武家成権の成立 ・武家社会の成長	【知】武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解している。 【思】公武関係の変化、宋・元などユーラシアとの交流と経済や文化への影響などに着目して、主題を設定し、中世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 【主】武家政権の変容や東アジアの国際情勢の変化などに着目し、諸資料を活用して前後の時代とのつながりを主体的に見出そうとしている。	④⑦⑧⑨
12	6				
1	4	C 近世の日本と世界 (1) 近世への転換と歴史的環境	・近世の幕開け	【知】織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解している。 【思】時代の転換に着目して、近世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。 【主】戦国時代から織豊政権にかけての歴史の展開に関わる課題を主体的に追究しようとしている。	④⑦⑧⑨
2	6				
3	4	(2) 歴史資料と近世の展望	・資料読解	【知】近世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思】歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。	④⑦⑧⑨

教科名	国語	講座名	創作国語（2年次）	履修区分	合同
科目名	創作国語			単位数	1
教科の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を各科目の目標が示すとおり育成することを目指す。				
科目の目標	<p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に着けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。【知】</p> <p>(2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。【思】</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。【態】</p>				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理能力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に着けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> 単元毎の学習内容の復習テスト 授業内外の課題への取り組み
【思】	思考・判断・表現	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> 単元毎の学習内容の復習テスト 授業内外の課題への取り組み
【態】	主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> 学習への取り組み方の観察 リフレクションカードの点検

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力	
4	3	言葉でスケッチ～一言で心をつかもう	<ul style="list-style-type: none"> ・写真やイラストに合ったおもしろい言葉を考え、読み手の共感が得られるような言葉や表現を工夫して書く。 ・ものの魅力を伝える言葉を探し、語彙を豊かにし、読み手の共感が得られるような言葉や表現を工夫して書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読み手の共感が得られる言葉や表現を工夫してものの魅力を伝える文章の効果について理解している。【知】 ・写真やイラストのおもしろさをとらえて、それを表現するためのさまざまな表現方法を用いたキャプションを考え、見る人の心を大いにつかむ作品を作っている。また、自分の伝えたいことや読み手に感じてもらいたいことは何かについて明確にした上で、「自分の好きな○○」を設定し、魅力を伝えるのに適切な語句を用いた紹介文を書いている。【思】 ・相互評価を通して、言葉や表現の可能性の広がり気づき、自分の表現に生かそうとしている。【態】 	④⑦⑧	
5	3				④⑦⑧	
6	4	様々な種類の作品を鑑賞し、川柳と俳句を創作してみよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・俳諧、近代現代俳句、川柳等、同じ語数を取る他ジャンルも含めた作品をこのような決まりの枝分かかれとそれぞれの特徴に注目して鑑賞し、作品や作者そのものに関する知識、その決まりや修辞、技法について学習する。 ・俳句の創作を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・川柳や俳句の形式や特徴をしっかり把握し、自分の思いを訴えかけ読み手に驚きや共感を与える川柳の魅力について、よく理解している。【知】 ・俳句や川柳を中心とした多くの作品に接してその魅力を深く感じ取り、自分自身も積極的に川柳の創作に取り組んで、人を驚かせ、共感させる作品を作っている。【思】 ・作品やその形式に関心し意欲的に味わい、自分でも多くの作品を作ろうとしている。【態】 	④⑦⑧⑨	
7	3					
8	2	自分の思いを独自の切り口で言葉にしてエッセイを書こう	<ul style="list-style-type: none"> ・不特定の読み手を想定し、自分の思いを表現したエッセイを書く。 ・既存の作品も参考にしながら、構成や表現を工夫して書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エッセイという形式についてよく知り、自分の思いを読み手に訴えかけ、わかりやすく伝える文章の種類や特徴などについて、しっかりと理解している。【知】 ・エッセイを読んでその魅力を感じ取り、自分自身も積極的にエッセイ執筆に取り組んで、読む人の心をつかむ作品を書いている。【態】 ・エッセイに関心を持ち、さまざまな内容のエッセイを書こうとしている。【態】 	④⑦⑧	
9	3					
10	2	小説の構造に着目してショートショートを創作しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・長編から短編、ショートショートまで、作品全体のサイズと主題、取られる表現方法の違いに注目して鑑賞し、作品や作者、技法について学習する。 ・短編及びショートショートの創作 	<ul style="list-style-type: none"> ・ショートショートとは何かをよく把握し、描こうとする世界を読み手にわかりやすく伝え、おもしろさを効果的に表現する文章の構成や特徴などについて、しっかりと理解している。【知】 ・ショートショートを読んでその魅力を感じ取り、自分自身も積極的にショートショート執筆に取り組んで、読む人の心をつかむ作品を書いている。【思】 ・ショートショートに関心を持ち、さまざまな内容のショートショートを書こうとしている。【態】 	④⑦⑧⑨	
11	3					
12	4					
1	2	これまでの学習で得たことを生かして短歌を創作し、歌集を作ろう。	<ul style="list-style-type: none"> ・古典、近現代を貫く和歌、短歌の作品を時代の変遷と主題や技法の変化に注目して鑑賞し、作品や作者そのものに関する知識、その決まりや修辞、技法を学習する。 ・短歌の創作を行う。 ・相互的に作品を鑑賞しあい、その配列を考えて歌集にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・短歌の形式や表現技法を正しく理解している。【知】 ・短歌の形式や特徴的な表現による魅力を感じ取り、自分自身も積極的に短歌創作に取り組んでいる。【思】 ・自他の作品の魅力や特徴を見出し、つながりや並びについて積極的に話し合い、より良い作品にしようと粘り強く取り組んでいる。【態】 	④⑦⑧	
2	3					
3	2					

教科名	公民	講座名	時事問題研究	履修区分	合同選択
科目名	時事問題研究			単位数	1
教科の目標	社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。				
科目の目標	(1) 時事問題を通して現代社会に生きる私たちの諸課題を考察することにより、物事を多角的・多面的に読み解く力を身に付ける。 (2) 現代社会の諸課題を主体的に考え、かつ公平・公正に判断する能力とともに、問題解決能力を身に付けることで、良識ある公民としての資質と態度を養う。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理能力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取べき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート、レポート、リフレクションシート等の課題の成果物評価 プレゼンテーションの内容評価 ポートフォリオ評価 ルーブリック評価
【思】	思考・判断・表現	政治や経済に関する概念・理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断している。	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート、レポート、リフレクションシート等の課題の成果物評価 プレゼンテーションの内容評価 ポートフォリオ評価 ルーブリック評価
【態】	主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート、レポート、リフレクションシート等の課題の提出状況 プレゼンテーションの発表状況 ポートフォリオ評価 ルーブリック評価 授業の取り組み

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力		
4	3	準備と動機付け	オリエンテーション 事前情報収集 ビジョンとゴール設定 仮説設定	①課題を解決するために必要な知識や技能を主体的に習得し、課題解決に活用することができている。【知】 ②課題解決について論理的多角的に考え、答えを導きだすことができている。【思】 ③課題の学問的社会的価値を見出そうとしている。【主】	①②③④ ⑤⑥⑦⑧ ⑨⑩		
5	3	計画設定	事前情報収集 現状と課題 計画設定				
6	4	情報収集	情報収集（ICT・文献・FW・アンケート） 知識の関連づけ、概念化				
7	3	中間発表	現状と課題の共有				
8	2	整理分析	情報収集（ICT・文献・FW・アンケート）				
9	3	最終発表 報告書作成	フィードバック 仮説検証・まとめ				
10	4	政治・経済分野	1 私たちの政治と選挙 2 日本国憲法の行方は 3 象徴天皇制 4 主な国々との外交			①日本の統治機構のしくみを理解し、実際の政治の動きや課題と関連付け、さまざまなメディアから情報を収集し、考察することができたか。【知】 ②現代の経済における基本的なしくみを理解し、現代の経済社会における個人、企業、政府の活動についてさまざまなメディアから情報を収集し、考察することができたか。【思】 ③課題の学問的社会的価値を見出そうとしている。【主】	①④⑤⑩
11	3		5 超高齢社会の地方 6 景気は回復しているか 7 変わる日本の産業・貿易				
12	3		8 これからのエネルギー 9 人口減少 10 社会保障の将来				
1	2		11 働くということ 12 違いを認め合って				
2	3	暮らし・社会 ・環境分野	13 司法と市民生活 14 情報社会に生きる 15 いのちを考える	①情報社会や生命倫理など、今日的な諸問題について、さまざまなメディアから情報を収集し、考察することができたか。【知・技】 ②暮らしや社会、環境に関する基本的なしくみを理解し、その動向や諸問題に関するさまざまな資料を収集し、考察することができたか。【思】 ③課題の学問的社会的価値を見出そうとしている。【主】	①⑤⑨⑩		
3	2		16 自然災害と原発事故 17 地球温暖化対策			②④⑦⑧	

教科名	数学	講座名	数学に親しむ(2年次)	履修区分	合同選択
科目名	数学に親しむ			単位数	1
教科の目標	数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、自称を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学の良さを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。				
科目の目標	数学に関する様々なテーマについて、遊びと学びを区別しないで楽しみ、実際に体験することで自分の考えを持ち、さらに発展させることを目指す。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 数学における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，知識を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 レポートへの取り組み
【思】	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 数学という言葉を用いて、自身の考え方を他者に伝えようとしているか。 図や表を用いて考えようとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 レポートへの取り組み 発表
【態】	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 数学の論理や体系に関心をもつとともに，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> レポートへの取り組み、考察

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	3	マテックス	ゲームの中でルールを理解し、勝ちを目指す中で先読みの深さを学びます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを理解し、戦略を立てる中で、自分の状況だけではなく、相手のパターンまで考慮し戦略を練ることができる。【思】 ・自ら積極的に対戦相手を探し、ゲームを振り返り、次につなげることができる。【態】 	③⑨
5	3				
6	4	数取り	身近なゲームの必勝法を考えたり、新たなルールを創造します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを理解し、戦略を立てる中で、自分の状況だけではなく、相手のパターンまで考慮し戦略を練ることができる。【知】 ・全体のバランスを考慮し、新たなルールを作り出すことができる。【思】 	⑦⑨
7	3				
8	2	トランプゲーム	ゲームを通して、論理的な思考と推理力を学びます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを理解し、戦略を立てる中で、自分の状況だけではなく、相手のパターンまで考慮し戦略を練ることができる。【知】 ・自ら積極的に対戦相手を探し、ゲームを振り返り、次につなげることができる。【態】 	⑦⑨
9	3				
10	4	一刀切り	直線で囲まれた図形の描かれた紙から、図形を切り抜きます。その方法を考える活動を通して、図形の持つ性質に迫ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを理解し、戦略を立てることができる。【思】 ・試行錯誤を繰り返し、解決にたどり着くことができる。【知】 	③⑦
11	3				
12	3	図形の面積	既習内容を用いて、複雑な形の面積を求めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・過去に学習した図形の面積を活用し、複雑な形の面積を計算する。【知】 ・試行錯誤を繰り返し、解決にたどり着くことができる。【知】 	④⑨
1	2				
2	3	テーブルカーリング	ルールを理解し、論理的な戦略を用いて勝つ方法を学びます	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを理解し、戦略を立てる中で、自分の状況だけではなく、相手のパターンまで考慮し戦略を練ることができる。【知】 ・自ら積極的に対戦相手を探し、ゲームを振り返り、次につなげることができる。【態】 	③⑦
3	2				

教科名	理科	講座名	理科に親しむ	履修区分	合同
科目名	理科に親しむ			単位数	1
教科の目標	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を養う。□				
科目の目標	高校生の視点から身近な自然現象における、様々な法則による因果関係から関連付けや理由付けを行い、因果関係から身近な自然現象を計画的に予想する。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	身近な自然現象は、様々な法則によって因果関係が成立し、観察・実験において様々な法則から自然現象の結果を予想している。	・ポートフォリオ評価 ・成果物評価
【思】	思考・判断・表現	身近な自然現象について、関連付けや理由付けながら結果を見通し、まとめている。	・ポートフォリオ評価 ・成果物評価
【態】	主体的に学習に取り組む態度	身近な自然現象について、諦めずに挑戦し、身近な自然現象を読み取ろうとしている。	・ポートフォリオ評価 ・成果物評価

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	3	オリエンテーション	オリエンテーション	【主】身近な自然現象について、積極的に興味を持ち、身近な自然現象を読み取ろうとしている。	①②
5	3	課題発見	新ひだか町・静内高校敷地内のフィールドワークにより課題を発見する。	【思】身近な自然現象について、理由付けながら結果を見通している。	②③⑤
6	4		活動計画を立案する。	【主】身近な自然現象について、計画した上で活動を行っている。	
7	3	情報収集 実践活動	課題解決に向けた情報収集と調査・実験を通して自然現象を科学的に調査する。	【知】身近な自然現象は自然法則により結果を予想できると理解している。	②⑦⑧⑨
8	2			【主】身近な自然現象について、計画した上で活動を行っている。	
9	3	分析と課題の再考	情報を整理し、課題が適切かどうか学習計画を自ら振り返る。	【思】活動計画について、課題解決に向けて協力しながら活動を振り返っている。	①⑥⑩
10	4	中間報告	現状と成果発表までの見通しを報告する。	【思】身近な自然現象について、自然法則との因果関係を明らかにしながら、まとめている。	⑧⑩
11	3	成果のまとめ	調査不足の部分を分析する。	【思】身近な自然現象について、関連付けや理由付けながら結果を見通し、まとめている。	⑥⑧⑨
12	3	成果発表	身近な自然現象について科学的に探究した内容を報告する。	【知】身近な自然現象は、様々な法則によって因果関係が成立し、観察・実験において様々な法則から自然現象の結果を予想している。	④⑥⑧⑨
1	2	報告書作成	年間の報告書を作成する。	【思】身近な自然現象について、諦めずに挑戦し、身近な自然現象を読み取ろうとしている。	④⑧
2	3	身近な科学	自らの興味関心に応じた自然現象を選択して実験を行い、報告書を作成する。	【知】自然法則は身近な自然現象を読み取るために活用でき、実社会で役立つことを理解している。	④⑦⑨
3	2			【思】自然法則について、実社会で活用される場面を想定しながら、報告書を作成している。	

教科名	外国語	講座名	STEP UP ENGLISH	履修区分	必修
科目名	英語			単位数	1
教科の目標	外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどの確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。				
科目の目標	1 ペアワークなどの中で、コミュニケーションをとろうとしている。 2 情報や考えなどを理解することができる。 3 情報や考えなどを伝えることができる。 4 文化的な多様性や違いを考えながら学習することができる。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	○課題テスト及び定期考査 ○活動の観察 ○ペアワークやグループ活動における対話内容や反応 ○パフォーマンステスト
【思】	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりする力を身につけている。	○課題テスト及び定期考査 ○活動の観察 ○ペアワークやグループ活動における対話内容や反応 ○パフォーマンステスト
【態】	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度が養われている。	○課題テスト等に対する取り組む姿勢と結果 ○活動の観察 ○グループ学習の発表内容と意見を聞く態度

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	3	文法チェック①～②	現在完了/過去完了/関係詞	・3級レベルの文法の要となる現在完了・過去完了・関係詞・分詞・不定詞・前置詞・接続詞・助動詞・比較・代名詞のポイントを復習し、身につけていることができる。【関・理・知】	①～⑩
5	3	文法チェック③～⑤	分詞/不定詞/前置詞/接続詞 助動詞/比較/代名詞		①～⑩
6	3	練習問題 筆記1	短文の語句空欄補充	・準2級の形式に慣れることができる。 ・練習問題を解くことで、英検の要となる語彙力を身につけることができる。[定期考査①] 【関・表・理】	①～⑩
7	3	練習問題 筆記2	会話文の空所補充	・英語の会話文の定型表現を身につけることができる。【理・知】	①～⑩
8	3	練習問題 筆記3	長文の語句空所補充	・長文を読むことで、語彙力の強化と長文読解に慣れることができる。【表・理・知】	①～⑩
9	3	練習問題 筆記4A	メール文の内容一致選択	・メール文の形式に慣れることができる。[定期考査②]【表・理・知】	①～⑩
10	3	練習問題 筆記4B	長文の内容一致選択	・長文を読むことで、語彙力の強化と長文読解が速くできるようになる。【表・理・知】	①～⑩
11	3	練習問題 筆記5	英作文	・英文の書き方のポイントを学び、実際に英文を書けるようになる。[定期考査③]。【関・表・理・知】	①～⑩
12	3	面接練習	二次面接対策	・二次面接の形式を知り、実勢に過去問題に取り組む。【関・表・理・知】	①～⑩
1	3	リスニング第1部	会話文の応答選択	・準2級のリスニングの形式に慣れることができる。 ・簡単な会話を聴いて、定型表現を身につけることができる。【理・知】	①～⑩
2	3	リスニング第2部	会話の内容一致選択	・やや難度の英文を聴くことになれることができる。[定期考査④]【理・知】	①～⑩
3	3	リスニング第3部	英文の内容選択	・ある程度のまとまった長文を聴いて、内容を理解し、正しい答えを選ぶことができる。【理・知】	①～⑩

教科名	芸術	講座名	器楽基礎	履修区分	合同
科目名	音楽			単位数	1
教科の目標	芸術の幅広い活動を通して、芸術に関する各科目の特性について理解し、意図に基づいて表現するための技能を身に付け、創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わうことができる資質を育成し、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。				
科目の目標	楽器演奏の基礎的な能力の習得、演奏活動に積極的に取り組もうという態度の育成				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。 ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。	実技（歌唱、器楽演奏・アンサンブル等） 鑑賞 ペーパーテスト
【思】	思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	実技（歌唱、器楽演奏・アンサンブル等） 鑑賞
【態】	主体的に学習に取り組む態度	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	授業態度、課題提出状況、忘れ物状況

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	3	オリエンテーション 楽譜の理解と演奏	器楽基礎について 読譜練習	<p>・ 楽曲の表現内容や様々な表現形態による歌唱や器楽の特徴に関心を持ち、表現意図をもって創造的に演奏したり、表現上の効果を生かして演奏したりする学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【態】</p> <p>・ グループで合奏することに関心を持ち、声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、主体的に取り組もうとしている。【態】</p> <p>・ 楽器の音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、音色や奏法の特徴を生かした演奏方法を工夫し、どのように演奏するか表現意図をもっている。【知】</p> <p>【思】</p> <p>・ 楽器の音色や特徴を生かした音楽表現をするために、必要な器楽の技能を身に付け、創造的に表している。【知】</p> <p>【思】</p> <p>・ 楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に音楽表現をしたり、表現上の効果を生かした音楽表現をしたりするために必要な読譜などの技能を身に付け、創造的に表している。</p> <p>【知】 【思】</p> <p>・ 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、構造上の特徴と美しさのかかわり、音楽とストーリーのかかわりを理解し、楽曲を解釈したり価値を考えたりして、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。【知】 【思】</p>	<p>①②③④⑥ ⑦⑧⑨⑩</p>
5	3	楽譜の理解と演奏 器楽鑑賞	読譜練習 器楽（独奏・アンサンブル） 鑑賞		
6	4				
7	3				
8	2	器楽 鑑賞	器楽（独奏・アンサンブル） 鑑賞		
9	3				
10	4				
11	3				
12	3				
1	2				
2	3				
3	2				

教科名	芸術	講座名	絵画入門	履修区分	合同
科目名	絵画入門			単位数	1
教科の目標	芸術の幅広い活動を通して、芸術に関する各科目の特性について理解し、意図に基づいて表現するための技能を身に付け、創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わうことができる資質を育成し、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。				
科目の目標	美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、意図に応じて表現方法を創意工夫し、主題を生成し発想や構想を練りながら、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深め、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	提出作品
【思】	思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	構想シート アイデアスケッチ
【態】	主体的に学習に取り組む態度	美術や美術文化と豊かに関り主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	創作活動等に対する取り組む姿勢 課題の提出状況 鑑賞シート

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	3	【絵画】 鉛筆デッサン	デッサンの基本 材質や質感に注目し、 紙コップの描写をする。	形や光、陰影、質感、造形的な特徴を基 に用具の特性を活かしながら構成などにつ いて考え、表現方法を創意工夫し、制 作しようとしている。 【知】【思】【態】	③④⑦
5	3				
6	4				
7	3				
8	2	【デザイン】 自然物による 平面構成	自然物をひとつ選択し、配色 を考えながらアクリル絵の具 で平面構成を行う。	素材や配置の変化、色を与える印象の違 いから全体のイメージや作風などを理解 し、与えられた条件を基に表現形式の特 性を生かし、形体や色彩、構成などにつ いて考え、創造的な表現の構想を練って 制作しようとしている。 【知】【思】【態】	③④⑦
9	3				
10	4				
11	3	【絵画】 グリザイユ	黒と白のアクリル絵の具を使 い、写真をもとにモノクロ陰 影による立体表現をする。	モノクロ段階分けによる立体表現をする ことによって全体のイメージや作風、様 式などを捉えることを理解し、元絵を基 に形態や色彩、構成などについて考えな がら、制作しようとしている。 【知】【思】【態】	③④⑦
12	3				
1	2				
2	3	【絵画・彫刻】 はんこで タイポグラフィ	文字の消しゴムはんこを制作 し、その集合体（文字構成） によって絵画表現を行う。	タイポグラフィによる文字構成から全 体のイメージや作風を捉えることを理解 し、意図に応じて彫り方や配色等表現方 法を創意工夫しながら、文字構成を基に テーマ（主題）を生成し、表現形式の特 性を活かして制作しようとしている。 【知】【思】【態】	③④⑦
3	2				

教科名	芸術	講座名	漢字かな交じりの書	履修区分	合同選択
科目名	漢字かな交じりの書			単位数	1
教科の目標	芸術の幅広い活動を通して、芸術に関する各科目の特性について理解し、意図に基づいて表現するための技能を身に付け、創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わうことができる資質を育成し、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。				
科目の目標	さまざまな古典を学習し、運筆法や用筆法を身につけ、漢字仮名交じりの書をとおして自己を表現する能力を身につける。また、表現の方法や形式、多様性についての理解を深め、創造的に構想し個性豊かに表現する能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深め、豊かな情操、自己肯定力を養う。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 書の表現の方法や形式、書表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深めている。 書の伝統に基づき、効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付け、表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの記述状況 活動の様子（意見交流における発言等） 作品
【思】	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの記述状況 活動の様子（意見交流における発言等） 作品
【態】	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 書の伝統と文化と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの記述状況 活動の様子（作品制作、鑑賞の取り組み状況）

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	3	現代に生きる書	[漢字仮名交じり書の鑑賞]	・名筆の鑑賞をとおして表現の特徴を理解し、書への関心や書のもつ美しさを感じようとしている。【知】【思】	②⑦⑨
5	3	字形と線質	[古典の臨書を生かした創作] ・筆の弾力を生かした軽快な線質 ・力強く角ばった線質 ・重厚で粘りのある線質	・古典の特徴を理解し、表現しようとしている。【知】【態】 ・線質による作品の雰囲気の違いと効果を理解し、その技能を身に付け表している。また、自己の制作に生かすことができる。【知】【思】 ・課題文を制作意図に基づき、線質を工夫して表現することができる。【思】【態】	②③④⑨
6	4				
7	3	作品構成	[様々な構成、表現方法を学ぶ] ・行間、余白を考える ・題材に合う効果的な構成を学ぶ ・文字の大小 ・墨の濃淡、墨料の変化	・紙面構成や余白の生かし方について理解し、表現しようとしている。【知】【態】 ・様々な構成法とその効果について理解し、全体構成を考えた表現の技能を身に付け表している。【知】【思】 ・課題文を制作意図に基づき、文字の大小、墨の濃淡、墨料の変化を工夫して表現することができる。【思】【態】	①②③④ ⑦⑧⑨
8	2				
9	3				
10	4	自己の表現を求めて①	[自らの制作意図に基づいて作品を制作する①] ・題材、表現を考える ・文字の配置、構成を考える ・用具用材、形式を工夫する	・制作意図に基づき、字形と線質、作品構成を工夫して表現しようとしている。【態】 ・他の生徒の作品のよさを見出し、自らの作品に生かそうとしている。【知】【態】 ・自ら題材を選び、その言葉への思いを深め、制作意図に基づき、適切に字形、線質、全体構成を工夫して表現している【思】【態】 ・半紙、色紙、半切など様々な形式に応じて表現を工夫している。【思】 ・表現を工夫しながら、郷土を素材とした作品を書き上げることができる。【思】	①②③④ ⑤⑦⑧⑩
11	3				
12	3				
1	2	自己の表現を求めて②	[自らの制作意図に基づいて作品を制作する②] ・料紙を作って作品制作する	・制作意図に基づいて料紙を作り、その料紙に作品を制作する中で、主体的に表現しようとしている。【知】【思】 ・他の生徒の作品のよさを見出し、自らの作品に生かそうとしている。【思】 ・これまでの学習を生かして、感性を働かせ、創造的な書表現を行っている。【思】【態】	①②③④ ⑤⑦⑧⑨
2	3				
3	2				

教科名	保健体育	講座名	トレーニング	履修区分	合同選択
科目名	トレーニング			単位数	1
教科の目標	専門的に体力を高める意義・方法を学び、効率よく運動ができる資質や能力を育てる。トレーニングの実践を通じ心身ともに自らを鍛え、自他の安全に配慮して行動する態度を身につける。				
備考	【履修条件】 2年次で「トレーニング」を履修した生徒は3年次での履修は不可。 日常的に運動を実践しており、男子は1500m走を6分以内で、女子は1000m走を5分以内で走りきれる生徒に限る。				
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各種のトレーニングの基礎・基本技術を身につける。 ・主体的にトレーニングに取り組む資質を身につける。 ・仲間と協力して活動を行い、安全に配慮して行動する態度を身につける。 				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理能力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取るべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	合理的、計画的な運動の方法や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。	出席状況 学習状況 服装
【思】	思考力・判断力・表現力	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、その解決に向けて深く考え判断している。また、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	学習状況 課題レポート 技能テスト
【態】	主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の中で、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を持つ。健康・安全を確保して運動に取り組んでいる。	学習状況 課題レポート 技能テスト

●留意点

<ul style="list-style-type: none"> ・個人および集団の安全を守るために授業規律を守ること。 ・指定された服装で授業を受けること。 ・授業中に体調が悪くなった場合、速やかに担当教諭に報告し指示を仰ぐこと。 ・入念に準備運動・整理運動を行い、学習環境・施設・道具の安全確認をするなど、常に安全に配慮して授業に取り組むこと。 ・授業中に激しいトレーニングを行っても積極的に取り組むことのできる生徒に限る。

●学習計画

月	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4 5 6	持久系 トレーニング	持久系トレーニングの基礎を学び、積極的にトレーニングに取り組む態度を身につける。	・持久系のトレーニングに自主的に取り組もうとしている	①⑥
7 8 9	スピード系 トレーニング	瞬発力系の運動や無酸素系のトレーニングの基礎を学び、安全にトレーニングに取り組む態度を身につける。	・瞬発力系のトレーニングに自主的に取り組もうとしている ・健康・安全を確保するために適切な練習方法を選んでいる	⑥⑦⑨
10 11 12	筋力系 トレーニング	フリーウェイトや自体重を使った筋力系のトレーニングの基礎を学び、安全にトレーニングに取り組む態度を身につける。	・筋力系のトレーニングに自主的に取り組もうとしている ・健康・安全を確保するために適切な練習方法を選んでいる	②⑦⑨
1 2 3	総合的 トレーニング	各種目の特性を生かしたトレーニング計画を立てたり、目的に応じたトレーニングを計画し、実践することができるようにする。	・ねらいや体力の程度に応じて、適切な運動の種類、強度、量、頻度を設定している ・運動の原則があることについて、理解したことを言ったり書き出したりしている	②③⑨

教科名	情報	講座名	情報活用	履修区分	合同
科目名	情報活用			単位数	1
教科の目標	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う。				
科目の目標	1年次の「情報科」で学習した内容の理解を深めるとともに、アプリケーションソフトの効果的な利用方法や利用技術の能力を身につける。				

●学校教育目標からの育成すべき資質・能力

① 自己肯定力	自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。	⑥ 自己管理力	授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
② 行動力	自分が取べき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。	⑦ 思考力	HRやグループワーク等の活動により、自ら課題を発見し、その解決に向けて、自分の考えを深め、広げて、論理的に考える力。
③ 創造力	未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。	⑧ 言語力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的意見を生み出す力。
④ 表現力	HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。	⑨ 分析力	情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
⑤ 郷土愛	総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。	⑩ 道徳心	授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

●評価方法

評価の観点		観点の趣旨	評価方法
【知】	知識・技能	ソフトウェアを効果的に利用する知識を身につけているか。	・実習成果物 ・実技テスト
【思】	思考・判断・表現	ソフトウェアを正しく操作し、表現方法を工夫しているか。	・実習成果物
【態】	主体的に学習に取り組む態度	効果的なソフトウェアの使用方法を考えようとしているか。	・授業態度 ・取組状況 ・実習成果物

●学習計画

月	時数	単元	学習内容	評価の観点	資質・能力
4	3	基礎編	<ul style="list-style-type: none"> ・使用するソフトの到達目標を設定する。 ・入力例や完成例を参照しながら、手順に沿って問題を完成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教え合いへの参加状況【関】 ・実技テスト【技】 	④⑧
5	3				
6	4				
7	3	応用編	<ul style="list-style-type: none"> ・文章から求められている指示を読み取り、必要な作業を自分で考え、問題を完成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教え合いへの参加状況【関】 ・実技テスト【技】 ・実習成果物【知】 	④⑦⑧
8	2				
9	3				
10	4	探究編	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に役に立つ成果物を情報機器を活用して創造する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動へ参加状況【関】 ・成果物に適したソフトウェアを選択している【思】 ・成果物に便利な工夫がある【技】 ・明瞭に成果物を説明することができる【知】 	②③④⑦⑧⑨
11	3				
12	3				
1	2				
2	3				
3	2				